
伊勢崎市教育委員会会議録

平成29年4月4日

伊勢崎市教育委員会

<p>開催年月日 開催の場所</p>	<p>平成29年4月4日(火) 伊勢崎市役所 本館4階教育委員会室 ◇ 会 議 日 程 ◇ 第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回、前々回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長職務代理者の指名 第6 その他の事項 第7 閉会宣言 ※出席委員 1番 徳江基行 2番 大矢光利 3番 宮川亮子 4番 高橋慶一 5番 津久井喜代己 ※説明のため出席した者 教 育 部 長 荻原利美 教 育 副 部 長 村井通浩 総 務 課 長 定形泰明 ※総務課職員出席者 書 記 田部井 恵美子 書 記 阿左美 裕美 書 記 金 井 愛実</p>
<p>開 会</p>	<p>———— 開会宣言 ———— 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。</p>
<p>会議録署名委員の指名</p>	<p>———— 会議録署名委員の指名 ———— 教育長から会議録署名委員として2番 大矢委員、3番 宮川委員、事務局説明者として教育部長、教育副部長、総務課長の指名があった。</p>
<p>前回、前々回会議録の承認</p>	<p>———— 前回、前々回会議録の承認 ———— 3/17、3/24の会議録の承認を求め、承認された。</p>
<p>会議録署名委員の署名</p>	<p>———— 会議録署名委員の署名 ———— 3/17、3/24の会議録の承認があり、署名をいただいた。 3/17 委員長(事後署名)、高橋委員、徳江委員署名 3/24 委員長、宮川委員、高橋委員署名</p>
<p>教育長職務代理者の指名</p>	<p>———— 教育長職務代理者の指名 ———— 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定では、教育長が教育長職務代理者を委員の中から指名することとされており、教育長職務代理者として大矢委員が指名された。 その後、教育長職務代理者に関して、事務局より説明があった。</p>

伊勢崎市教育委員会会議録

平成29年4月21日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	<p>平成29年4月21日(金)</p> <p>伊勢崎市役所 本館5階職員研修室</p> <p>◇ 会議日程 ◇</p> <p>第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長報告 第6 事前質問事項 第7 議事 第8 その他の事項 第9 閉会宣言</p> <p>※出席委員</p> <p>1番 徳江基行 2番 大矢光利 3番 宮川亮子 4番 高橋慶一 5番 津久井喜代己</p> <p>※説明のため出席した者</p> <table border="0"> <tr><td>教育部長</td><td>荻原利美</td></tr> <tr><td>教育副部長</td><td>村井通浩</td></tr> <tr><td>総務課長</td><td>定形泰明</td></tr> <tr><td>教育施設課長</td><td>小野塚博久</td></tr> <tr><td>学校教育課長</td><td>三村国宏</td></tr> <tr><td>四ツ葉学園中等教育学校事務長</td><td>山崎芳宣</td></tr> <tr><td>健康教育課長</td><td>戸田康一</td></tr> <tr><td>生涯学習課長</td><td>二上哲也</td></tr> <tr><td>図書館課長</td><td>井野幸枝</td></tr> <tr><td>文化財保護課長</td><td>福田徹</td></tr> </table> <p>※総務課職員出席者</p> <table border="0"> <tr><td>書記</td><td>田部井 恵美子</td></tr> <tr><td>書記</td><td>阿左美 裕美</td></tr> <tr><td>書記</td><td>金井 愛実</td></tr> </table>	教育部長	荻原利美	教育副部長	村井通浩	総務課長	定形泰明	教育施設課長	小野塚博久	学校教育課長	三村国宏	四ツ葉学園中等教育学校事務長	山崎芳宣	健康教育課長	戸田康一	生涯学習課長	二上哲也	図書館課長	井野幸枝	文化財保護課長	福田徹	書記	田部井 恵美子	書記	阿左美 裕美	書記	金井 愛実
教育部長	荻原利美																										
教育副部長	村井通浩																										
総務課長	定形泰明																										
教育施設課長	小野塚博久																										
学校教育課長	三村国宏																										
四ツ葉学園中等教育学校事務長	山崎芳宣																										
健康教育課長	戸田康一																										
生涯学習課長	二上哲也																										
図書館課長	井野幸枝																										
文化財保護課長	福田徹																										
書記	田部井 恵美子																										
書記	阿左美 裕美																										
書記	金井 愛実																										
開 会	<p>———— 開会宣言 ————</p> <p>教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。</p>																										
会議録署名委員の指名	<p>———— 会議録署名委員の指名 ————</p> <p>教育長から会議録署名委員として3番 宮川委員、4番 高橋委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。</p>																										
前回会議録の承認	<p>———— 前回会議録の承認 ————</p> <p>4/4の会議録の承認を求め、承認された。</p>																										

会議録署名委員の署名

—— 会議録署名委員の署名 ——

4 / 4 の会議録の承認があり、署名をいただいた。

4 / 4 教育長、大矢委員、宮川委員署名

教育長報告

—— 教育長報告 ——

《学校教育課長》

1. 「つながる・ひろがる・ISESAKI ステップについて」、外国籍児童生徒が学校及び園生活に適応できるように指導・援助を行う際のヒントとなる冊子を作成した旨、資料を基に報告があった。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

2. 「平成29年度四ツ葉学園中等教育学校入学式について」、第9回入学式が行われ128名が入学した旨、資料を基に報告があった。

3. 「第3期生進路状況について」、第3期生の大学等への合格者数と進学者・就職者数について、資料を基に報告があった。

《図書館課長》

4. 「『こどもの読書週間』に合わせた各種事業について」、各図書館において、こども読書週間に合わせて図書館や本に親しむきっかけになる事業を開催する旨、資料を基に報告があった。

《文化財保護課長》

5. 「平成29年度はたおり体験学習について」、今年度の事業内容と実施日について、資料を基に報告があった。

《宮川委員》

「つながる・ひろがる・ISESAKI ステップ」は、色々なところから取材を受けたそうですが、伊勢崎市として先進的な取り組みであり、素晴らしいと思いました。外国籍の子どもたちの指導に活用できるとよいと思います。

《高橋委員》

伊勢崎市にいる約1,000人の児童生徒は、語圏や文化がそれぞれ違うと思います。語圏や文化が違えば日本語の教え方も変わってくると思いますが、何ヶ国くらいでどの語圏が中心なのかを教えてください。

《学校教育課長》

およそ21ヶ国の児童生徒が伊勢崎市の学校に在籍しており、伊勢崎市全体では大人も含めると50～60ヶ国の方々が在住しております。その中で多い国はペルーやブラジル、ベトナムです。かつてはこの3ヶ国で8割を占めておりましたが、最近では東南アジアやアフリカ、境地区ではイスラム圏からも来ております。

《高橋委員》

イスラム圏では、生活習慣が大きく違ってきますね。

《学校教育課長》

給食の豚肉がだめであるとか、ラマダンのときには学校を休むことがあり、学校の授業等とバランスを図ることが難しいです。

《高橋委員》

「つながる・ひろがる・ISESAKI ステップ」は非常によいものだと思いますので、よろしくお願いします。

はたおり体験学習では3人1組編成にボランティア1人がつくそうですが、かなりの人数が必要になりますね。

《文化財保護課長》

1班に1名のボランティアをつけ、はたおりの方法を教えます。糸をくぐす作業に時間がかかるため、通常は午前中で終わるのですが、クラス数の多い学校ですと午後までかかってしまいます。

《津久井委員》

初めて四ツ葉学園中等教育学校の入学式に出席させていただきました。生徒ひとりひとりがとても礼儀正しく、四ツ葉学園の教育は素晴らしいと感動しました。これからも四ツ葉学園を楽しみにさせていただきます。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

生徒、保護者が一生懸命ですし、教員、事務員も精一杯よい学校にするよう努めていきます。

《高橋委員》

四ツ葉学園は英語に力を入れていると思いますが、そのことは理系や医学部にどう作用していますか。子どもたちは理系にも動いていますよね。英語は文系のような感じがしてしまうのですが、文系理系の割合を教えてください。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

文系理系の割合は、クラスで半々です。

《学校教育課長》

英語については、入学時から使える英語ということで、話す活動、コミュニケーション活動を中心に行っており、学年が上がるにつれて、文法や英作文に力を入れ、入試に対応できるようにしております。文系理系につきましては、3年生で高校の教育課程について説明会を行い、4年生でしっかり自分の進むべき方向を定め、5年6年へ進みます。通常の高校では入学してすぐに文系理系に分かれるため、自分の進路を見通すことなく好きな科目で選んでしまうことが多いですが、1年生からキャリア教育を行うので、適切な進路選択ができると思っております。

《徳江教育長》

早めにキャリア教育を進めるということですが、四ツ葉学園の特徴的な行事などを委員さんに紹介してください。

《学校教育課長》

1年生では職場調べをします。2年生では社会人への取材活動をします。これは30～40の職業の方々を学校に集め、仕事の内容ややりがい等をグループ別に取材するものです。3年生では、首都圏の総合大学を見学に行きます。4年生では自分が志望する学科のある大学に自分たちで約束をとって計画を立てて見学に行きます。5年生では進路がほぼ決定していますので、自分の志望する大学に自分で見学に行きます。前倒しで丁寧な対応ができていると思っております。

《大矢委員》

卒業生の進路状況をみると、子どもたちの努力が素晴らしいと思いました。

こどもの読書週間特別イベントの「ぬいぐるみのおとまり会」には、何人くらいの方が申し込むのでしょうか。

《図書館課長》

10組の募集で、すぐに定員一杯になります。これはアメリカの公立図書館が発祥の事業になります。チェックインでぬいぐるみを預かり、夜の図書館でそのぬいぐるみが絵本の返却をしている様子や遊んでいる様子等を写真に撮ります。翌日のチェックアウトで受け取りにくるときに、ミニアルバムにしてプレゼントします。申込時には、子どもの好きな絵本について保護者から聞き取っておき、それに見合った絵本をぬいぐるみが読んでいるシチュエーションを作ります。その本をチェックアウト時に子どもに借りていってもらいます。このような仕組み作りをしながら、図書館と家庭との往復を意図している事業です。

《宮川委員》

こどもの読書週間特別イベントの中の、境図書館「こどもの本の古本市」ですが、無料で1人10冊まで配布とあります。3月にあった赤堀の読書まつりのときには子ども向けの古本の数がかなり少なかったのですが、本はたくさんあるのでしょうか。

《図書館課長》

本を除籍するタイミングの問題で、十分な数を用意できないときがあります。子ども向けの本は人気があり、本を集めることに苦慮しております。また、市内の幼稚園、保育園等から希望があれば、イベント前にそちらへ渡しています。3月の赤堀読書まつりのときには数が少なく残念だったという声をいただきました。

《徳江教育長》

最後に、はたおり体験学習ですが、伊勢崎市の小学生は必ず一度ははたおり体験ができるということでしょうか。

《文化財保護課長》

はい。平成15年度に事業を開始したときには4校のみでしたが、徐々に増えていき、平成20年すぎにはほとんど全ての小学校で行うようになり、ここ数年は全校児童が体験できることになっております。

事前質問

—— 事前質問 ——
なし

議 事

—— 議案 ——

議案第1号「平成28年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出補正予算(第4号)の計上に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。書記が議案を朗読のあと、教育部長から資料を基に説明がされた。

《宮川委員》

歳入補正予算の幼稚園費補助金5,135千円は大きい金額ですが、これは補助金が予定よりも増えたということですか。

《教育部長》

そのとおりです。幼稚園就園奨励費補助金は人数とその世帯の所得で計算した結果になりまして、年度末にならないと金額が確定できません。本来であれば3月議会に上程するところですが、額の確定が間に合わないため、年度末の3月30日に専決処分したものです。なお、こちらは直近の議会に上程し、報告の後に議会の承認を受けることとなります。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第2号「伊勢崎市教育委員会公印規則の一部を改正する規則に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

書記が議案の朗読のあと、総務課長から資料を基に説明がされた。
(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第3号「伊勢崎市奨学生選考委員会の委嘱に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

書記が議案の朗読のあと、学校教育課長から資料を基に説明がされた。

《宮川委員》

貧困な家庭ではなく普通の家庭でも、お子さんを大学に通わせることはお金がかかって大変です。将来有望なお子さんは、返済しなくてもよい給付型奨励金が受けられるようになることを期待します。

《学校教育課長》

本市では、基金をもとに貸与しています。給付型にすると基金が減ってしまい今後の活用がうまくいかなくなるため、本市では貸与型としております。国では前倒しで給付型の奨学金を借りることができるようになりました。現在7名が伊勢崎市の奨励金を申し込んでおりますが、国の給付型奨励金と併用しながら本市の奨励金を活用してもらえればと考えております。基金を有効に幅広い方々に利用してもらいたいと思っております。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第4号「学校運営協議会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

書記が議案の朗読のあと、学校教育課長から資料を基に説明がされた。

《宮川委員》

学校、地域、家庭が一体となって子どもを育てることは重要であり、学校運営協議会のような仕組みがどんどん普及して素晴らしいと思います。

千葉では犯人が保護者会長であったという衝撃的な事件がありましたが、まじめに取り組んでいる者にとっては迷惑なことであり、互いに疑心暗鬼になるとすると困りますし、今後の学校運営は慎重に行うべきだと思いました。

《高橋委員》

男女比の決め事は特にないのでしょうか。

《学校教育課長》

特にありません。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第5号「伊勢崎市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

書記が議案の朗読のあと、学校教育課長から資料を基に説明がされた。

《宮川委員》

よほど大きな事件にならない限りは、いじめ問題対策連絡協議会まで話が

上がってこないと思いますが、子どもたちの間のトラブルはよくあることだと思います。例えば自分の子どもがいじめにあい、保護者から先生に相談したとして、担任の対応や学校内での対処の仕方は先生個人の力量に任せている部分が大いと感じています。またスクールカウンセラーが定期的に学校を訪問していますが、いじめ問題が起こった場合はどのように関わっているのでしょうか。先生がカウンセラーに相談することもできるのでしょうか。小学校では保護者がカウンセラーに相談することはあるようです。

《学校教育課長》

いじめ問題は全国的な課題であり、大きな問題です。子どもたちは、同じ目標を持ってがんばったり、時には意見が衝突する経験を通して成長するものですが、悪意を持ったり心に傷を負ったりすることのないように温かい学校づくりに取り組んでいるところです。いじめについては早期発見が大切であり、毎月必ずいじめアンケートや生活アンケート、生徒会主催のもの、または教育相談といった形で子どもたちの生活の様子やいじめの有無を把握し、早期解決に努めているところです。スクールカウンセラーも各学校に配置しておりますし、小学校学習生活相談員、中学校教育相談員を市単独事業で配置しており、カウンセラーや相談員により、月曜日から金曜日まで子どもたちの心のケアに当たりやすい体制を作っております。児童会や生徒会を中心に、子どもたちの力で解決することもしております。大きな事件が起こったときには、いじめ問題対策連絡協議会で協議し、犯罪的なものは警察、家庭的なものは児童相談所を含めて、総力をあげて対応したいと思っております。

《徳江教育長》

いじめについては全国的に事案があり、指導者、特に担任の能力によるところが大きいということで日本では文科省を中心に話し合われております。伊勢崎市でもいじめ問題対策連絡協議会についての条例を作り、問題があってもなくても委員を委嘱して話し合いを行い、伊勢崎市教育委員会として取り組んでまいります。また、学校でも担任だけではなく学校自体として取り組んで、何としてもいじめによる悲惨な事件を招かないように、予防的な立場から進めていきたいと考えます。

《宮川委員》

いじめが長引くと不登校につながりますし、早期発見、早期解決が大事だと思います。

《津久井委員》

いじめの問題は各学校の初期対応が大事だということですが、上手く解決できたケースを共有していく場はあるのですか。

《徳江教育長》

はい。上手く解決できた事例を紹介してもらえますか。

《学校教育課長》

担任だけに任せるのではなく組織として解決していくことが大事だと思っております。上手くいったケースでは、担任には言えないことでも養護教諭に言って解決できたケース、アンケートの中にあつたことを生徒会担当が発見し担任と共有して解決したケースなど、個の力も大切ですが組織の力を上げることで見過ごすことなく早期発見し、みんなで対応できたという事例

<p>その他の事項</p> <p>閉 会</p>	<p>が上手くいった事例だと思います。</p> <p>《大矢委員》</p> <p>いじめは問題が小さいうちにどう対応していくかが大切だと感じていました。いじめ問題対策連絡協議会に小さい問題にも取り組んでもらえると、とても有効だと思います。ぜひ積極的に進めてもらいたいと思います。</p> <p>《徳江教育長》</p> <p>委員の選出ですが、協議会内の話し合いだけでなく、例えば、登下校時に見守り隊の人たちが見てくれている子どもたちの様子や警察での最近の事案についての情報交換などを通じた事前予防、万が一発生したときの一早い対応等を考慮して、関係する分野の方々を選んでおります。</p> <p>(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p> <p>————— その他の事項 —————</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の教育委員会の日程について <p>5月16日(火) 午後2時00分 赤石楽舎</p> <p>————— 閉会宣言 —————</p> <p>以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。</p>
--------------------------	--

伊勢崎市教育委員会会議録

平成29年5月16日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日
開催の場所

平成29年5月16日(火)

赤石楽舎

◇ 会議日程 ◇

- 第1 開会宣言
- 第2 会議録署名委員の指名
- 第3 前回会議録の承認
- 第4 会議録署名委員の署名
- 第5 教育長報告
- 第6 事前質問事項
- 第7 議事
- 第8 その他の事項
- 第9 閉会宣言

※出席委員

- 1番 徳江基行
- 2番 大矢光利
- 3番 宮川亮子
- 4番 高橋慶一
- 5番 津久井喜代己

※説明のため出席した者

教育部長	荻原利美
教育副部長	村井通浩
総務課長	定形泰明
教育施設課長	小野塚博久
学校教育課長	三村国宏
四ツ葉学園中等教育学校事務長	山崎芳宣
健康教育課長	戸田康一
生涯学習課長	二上哲也
図書館課長	井野幸枝
文化財保護課長	福田徹

※総務課職員出席者

書記	田部井 恵美子
書記	阿左美 裕美
書記	金井 愛実

・議案番号の変更について

お配りした議案番号は第6号から第9号ですが、資料作成後に持ち回りの議案が1件ありましたので、番号が1号ずつずれ、第7号から第10号になります。

・資料の訂正について

議案第7号資料49ページ「委員長職務代理者」を「教育長職務代理者」に訂正します。

開 会

—— 開会宣言 ——

教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。

会議録署名委員の指名

—— 会議録署名委員の指名 ——

<p>前回会議録の承認</p>	<p>教育長から会議録署名委員として4番 高橋委員、5番 津久井委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。</p> <p>—— 前回会議録の承認 ——</p> <p>4 / 2 1 の会議録の承認を求め、承認された。</p>
<p>会議録署名委員の署名</p>	<p>—— 会議録署名委員の署名 ——</p> <p>4 / 2 1 の会議録の承認があり、署名をいただいた。</p> <p>4 / 2 1 教育長、宮川委員、高橋委員署名</p>
<p>教育長報告</p>	<p>—— 教育長報告 ——</p> <p>《学校教育課長》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「平成29年度伊勢崎市中学生海外語学研修について」、8月4日から8月17日までの14日間、スプリングフィールド市等において、中学生70名が海外語学研修を行う旨、資料を基に報告があった。 2. 「平成29年度『教育新時代いせさきミーティング』について」、7月14日及び1月19日、新しい時代の教育の方向性や本市の教育施策の具現化に向け、幅広い分野で活躍する専門性を持つ方々から助言等をもらう「教育新時代ミーティング」を実施する旨、資料を基に報告があった。 3. 「いせさき教育アンバサダー事業について」、本市出身または本市にゆかりがあり様々な分野で活躍する方々に「いせさき教育アンバサダー」を委嘱し、児童生徒に将来への大きな希望や夢を持たせるような特別授業や講演会をしていただいたり、各種の学校行事への協力等をお願いする予定である旨、資料を基に報告があった。 <p>《四ツ葉学園中等教育学校事務長》</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 「海外グローバルリーダー研修の実施について」、5月27日から6月6日までの11日間、スプリングフィールド市において、中等5年生が英語研修や体験活動等を行う旨、資料を基に説明があった。 5. 「学校説明会について」、6月10日、県内の6年生児童及びその保護者を対象に学校説明会を開催する旨、資料を基に報告があった。 <p>《図書館課長》</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 「初心者古文書講座について」、5月18日から7月13日までの間の全8回で、伊勢崎市図書館において、古文書に初めて触れる人を対象とした「初心者古文書講座」を開催する旨、資料を基に報告があった。 <p>《徳江教育長》</p> <p>先週、関東地区都市教育長協議会が茨城県であり、水戸市の教育について紹介がありました。水戸市の教育は、弘道館での学びと偕楽園でのゆとりを一体として取り組んできた歴史があります。わが伊勢崎にも、図書館課長から紹介があったように、学びを支援する「郷学」と「いせさき学習堂」がありました。「いせさき学習堂」の名称を利用して、市民の学びを支援していきます。</p> <p>《高橋委員》</p> <p>四ツ葉学園の海外グローバルリーダー研修ではホームステイ体験がありま</p>

す。通常は大学の寮で生活するわけですが、このときには1日ホームステイをするということですか。また、何人かに分かれて入るのですか。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

一般家庭で受け入れてもらいます。

《学校教育課長》

120人を超える大所帯ですので、1家庭2～3人になります。寮まで迎えに来ていただき、ホームステイ先の家庭で過ごします。

《宮川委員》

海外グローバルリーダー研修や中学生海外語学研修は、実際に海外に行って色々な体験ができ、素晴らしいと思います。1家庭でホームステイする人数が2～3人ですと日本語を話してしまい困ったこともなくなってしまいます。できれば1家庭1人で英語を話さなくてはいけない状態にした方がよいと思いました。

《学校教育課長》

できるだけたくさんの方に協力をしていただきたいという要望は毎年出しておりますが、スプリングフィールド市は人口14万人程度の都市であり、姉妹都市委員会に加盟している家庭の数にも限りがあります。最大限協力していただいている結果が今の状況だと思います。子どもたちには日本語ではなく英語を活用するように指導していきます。

《津久井委員》

中学生海外語学研修は、希望した生徒のうちどれくらいが参加できるのでしょうか。希望者全員が行けるわけではありませんよね。

《学校教育課長》

昨年12月に参加の希望をとりました。今回は第一中学校から境南中学校まで45名の応募があり、そのうちの40名が参加できることになりました。また、四ツ葉学園からは42名の応募があり、そのうちの30名が参加できることになりました。70名は群馬県の中で一番多い人数ですが、行けなかった生徒にとっては本当に残念なことであり、成果をしっかりと共有できるような対策を取っていきたいと考えております。

《津久井委員》

有意義な海外体験ができるよう望んでおります。

《徳江教育長》

1人で家庭にホームステイするという話が出ました。海外グローバルリーダー研修の語学学校では、子どもたちができるだけ英語を使うように、10人程度の少人数のグループに先生が1人つきます。また、大学や家庭以外でも、ショッピングやボランティア活動をする中で地元の人と交流する場面はたくさんあります。

《大矢委員》

いせさき教育アンバサダー事業ですが、年間で何回くらい計画をしているのですか。また、講演会や活動の内容をもう少し具体的に教えていただけますか。

《学校教育課長》

いせさき教育アンバサダー事業は今年度の目玉事業にしたいと考えております。ふるさと伊勢崎で育って活躍されている方々に、母校に戻って子どもたちに元気を与えるような授業や講演会を行ってほしいと考えております。

現在、各小中学校には未来力学習講座というものがあり、子どもたちの夢を作るキャリア教育を実施しているところですが、このアンバサダー事業では、教育委員会が率先し、母校のために協力をしていただける著名な方々を各学校に斡旋していくものになります。今年度から始める事業であり、どれだけの方々が協力してくれるのか分かりませんが、ふるさとのためという趣旨の下、謝礼金なしで協力をお願いしていきます。今年度は各中学校区で1つを目標とし、ゆくゆくは全小中学校で実施していきたいと考えております。今現在は、お手元の資料の緑色の方々に日程調整をお願いしているところです。

《徳江教育長》

これまでも伊勢崎市では未来力学習講座をしており、各学校が子どもたちのキャリア教育に資するような講師を招いて講演会をしていました。学校教育課長が述べたような趣旨で、伊勢崎市で生まれ育った色々なジャンルの方々を呼び、子どもたちのふるさと学習を支援したいと思います。

《大矢委員》

NHKの「ようこそ先輩」のようなイメージでしょうか。

《学校教育課長》

NHKのものは単独のクラスですが、できるだけ多くの子どもたちに聞いてもらうため、学年全体や学校全体を対象に考えております。

《宮川委員》

未来力学習講座はこれまでどおり続けるのですか。

《学校教育課長》

未来力学習講座も引き続き各学校で実施します。未来力学習講座は、進路やキャリア、地域学習、人権学習等、教育活動の中で各学校が狙いを定めて取り組んでおります。いせさき教育アンバサダー事業は、ふるさと伊勢崎のため、母校のために協力していただける方々を教育委員会が委嘱してお願いするものです。

《宮川委員》

名前に色が付いていない方はどういう人ですか。

《学校教育課長》

赤色は不可だった人、黄色は交渉中の人、緑色は引き受けていただけた人、白色はまだ接触していない人になります。

事前質問

—— 事前質問 ——
なし

議 事

—— 議案 ——

議案第7号「平成28年度伊勢崎市教育委員会事業点検・評価報告書（案）について」教育長から上程があった。

書記が議案を朗読のあと、総務課長から資料を基に説明がされた。

《宮川委員》

平成27年度に比べて平成28年度の報告書は、内容が充実し、項目が分かりやすく表記されていてすばらしいと思います。施策についての5段階評価のところ、「学びの芽生えを大切にす就学前教育の充実」（17ページ）は有効性5、必要性5で方向性が4ですが、どうしたら4から5になるので

しょうか。5ではなく4である理由を教えてくださいませんか。

《総務課長》

4は「高い」、5は「極めて高い」ということで、今後5の評価になるように事業を点検評価しながら進めていきたいと考えております。

《宮川委員》

今後に期待が持てるということですね。

《教育部長》

平成29年度から市立幼稚園の3年保育が試行的に3園で始まりました。市内には10園あり、うち1園は休園中ですが、全体の中での有効性を判断した場合、まだ5ではないということです。今後拡充する中で、来年度以降5がつけられるように取り組んでいきたいと考えております。

《大矢委員》

学識経験者の意見の中で、紹介できるものがあればお願いします。

《事務局》

平成28年度からは群馬大学の田村教授に様式の段階から意見をいただきました。伊勢崎市の事業は、市民を重視した内容であり、また英語教育に重点的に取り組んでおり、今後の成果が非常に大切でしょうという話でした。堅実に教育行政を進めているという意見をいただきました。各施策については、内容をご覧いただきたいと思います。

《徳江教育長》

田村教授からは、実際に生涯学習大会や読み聞かせ等の現場を見ていただいた上で、感想をいただいております。

《宮川委員》

田村教授はどういった経歴の方なのですか。

《事務局》

田村教授ですが、現在は大学院の教授です。県教育委員会の教育次長をされていたので、県内全域の教育を見た上で、本市の教育を見ていただきました。

《徳江教育長》

学校現場出身であり、県教育委員会の点検評価もやっていて、ノウハウをたくさん持った方です。

《宮川委員》

同じ名前の校長先生がいたのですが、その方ですね。

《高橋委員》

29ページ「子どもの道徳教育」の指標ですが、実績値が平成27年度37回、平成28年度65回で、平成31年度の目標値を既に超えています。これはこのままで捉えるということですね。

《事務局》

指標ですが、この施策に限らず目標値を達成したものはあります。田村教授からの意見では、実績値には人の波に流れがありますので、目標値をクリアしたからといってさらに数値を上げず、長いスパンで見ていくことが重要でしょうということでした。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第8号「伊勢崎市社会教育委員の委嘱に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

書記が議案の朗読のあと、生涯学習課長から資料を基に説明がされた。

《津久井委員》

社会教育委員の仕事について教えてください。

《生涯学習課長》

年4回の会議があります。1回目は委嘱状の交付、教育行政方針並びに事業計画について事務局から説明し、年間計画についてご意見をいただきます。2回目は中部地区社会教育委員研修会に参加します。3回目は視察で、平成28年度は南小学校の放課後子ども教室を見ていただきました。4回目は総括として社会教育事業の報告と検討、次年度につながる意見と要望をお聞きします。

《教育部長》

社会教育委員さんには、伊勢崎市全体の社会教育、生涯学習を主導していただきます。

《徳江教育長》

公民学習、市民学習ということで、部長から説明があった趣旨の下、具体的には生涯学習課長が説明した事業をしています。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第9号「伊勢崎市公民館運営審議会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

書記が議案の朗読のあと、生涯学習課長から資料を基に説明がされた。

(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第10号「赤堀歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

書記が議案の朗読のあと、文化財保護課長から資料を基に説明がされた。

《宮川委員》

この議案に限らず、「委員の人選に必要以上の時間を要し」ということですが、委員の人選はどういったところが大変で、どういったところに時間がかかるのでしょうか。

《事務局》

人選は団体に依頼しますが、新年度は団体のメンバーも入れ替わりがあり、4月～5月にかけて団体の総会が行われるため、任期満了までに推薦書が出揃うことは難しいことです。各団体から委員を推薦していただく中で、会合の時期等を加味して議案文のような文章表現とさせていただいております。

《宮川委員》

団体から推薦書が上がってくるまでに時間がかかるということですね。

《徳江教育長》

団体によっては代表が決まるまでに時間がかかるため、時間を要します。

《大矢委員》

再任される方はどのくらいの割合でいるのでしょうか。

《生涯学習課長》

社会教育委員と公民館運営審議会委員については、半数以上が再任であり、新任の方のほうが少ないです。

《徳江教育長》

継続性があるということですね。
(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第11号「宮郷公民館用地の取得について」教育長から上程があった。書記が議案の朗読のあと、生涯学習課長から資料を基に説明がされた。

《高橋委員》

田んぼとありますが、水利権は大丈夫ですか。

《生涯学習課長》

関係部署から意見書をいただき、全てクリアした上で進めております。

《教育部長》

水利権については、引き続き田んぼで使う場合に必要になるのではないかと思います。この土地は除外申請を取っており、田んぼとして使用するものではないことからすると、水利権の取得は不要だと思います。
(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

その他の事項

——— その他の事項 ———

・ 次回の教育委員会の日程について

6月20日(火) 午後2時00分 伊勢崎市図書館

・ 「田島弥平旧宅の催し」について

5月21日に開催される「第22回島村渡船フェスタ」において、「田島弥平旧宅の催し」を実施する旨、文化財保護課長から資料を基に報告があった。

《徳江教育長》

過日、群馬テレビでも島村の渡しと田島弥平旧宅を取り上げてもらい、関心が高まっております。ぜひ島村渡船フェスタと合わせてご覧になってください。

《高橋委員》

以前の田島弥平旧宅の催しでは興陽高校の生徒がお菓子を販売していましたが、今回はないのでしょうか。

《文化財保護課長》

今回は島村渡船フェスタの本会場で行うと聞いております。興陽高校には、今後とも田島弥平旧宅への協力についてお声がけさせていただきます。

・ 和解及び損害賠償の額を定めることについて

5月19日の市議会臨時会本会議において、専決処分書内容を報告する旨、総務課長及び健康教育課長から資料を基に報告があった。

閉 会

——— 閉会宣言 ———

	以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。
--	-------------------------

伊勢崎市教育委員会会議録

平成29年6月20日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日
開催の場所

平成29年6月20日(火)

伊勢崎市図書館

◇ 会議日程 ◇

- 第1 開会宣言
- 第2 会議録署名委員の指名
- 第3 前回会議録の承認
- 第4 会議録署名委員の署名
- 第5 教育長報告
- 第6 事前質問事項
- 第7 議事
- 第8 その他の事項
- 第9 閉会宣言

※出席委員

- 1番 徳江基行
- 2番 大矢光利
- 3番 宮川亮子
- 4番 高橋慶一
- 5番 津久井喜代己

※説明のため出席した者

教 育 部 長	荻原利美
教 育 副 部 長	村井通浩
総 務 課 長	定形泰明
教 育 施 設 課 長	小野塚博久
学 校 教 育 課 長	三村国宏
四ツ葉学園中等教育学校事務長	山崎芳宣
健 康 教 育 課 長	戸田康一
生 涯 学 習 課 長	二上哲也
図 書 館 課 長	井野幸枝
文 化 財 保 護 課 長	福田 徹

※総務課職員出席者

書 記	田部井 恵美子
書 記	阿左美 裕美
書 記	金井 愛実

・資料の一部訂正について

議案5ページ(議案第13号)No.29からNo.33の5行を追加
議案8ページ(議案第14号)No.1の住所を訂正

開 会

——— 開会宣言 ———

教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。

会議録署名委員の指名

——— 会議録署名委員の指名 ———

教育長から会議録署名委員として5番 津久井委員、2番 大矢委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。

<p>前 回 会 議 録 の 承 認</p>	<p>—— 前回会議録の承認 ——</p> <p>5 / 1 6 の会議録の承認を求め、承認された。</p>
<p>会議録署名委員の署名</p>	<p>—— 会議録署名委員の署名 ——</p> <p>5 / 1 6 の会議録の承認があり、署名をいただいた。</p> <p>5 / 1 6 教育長、高橋委員、津久井委員署名</p>
<p>教 育 長 報 告</p>	<p>—— 教育長報告 ——</p> <p>《教育部長》</p> <p>1. 「平成29年度第3回伊勢崎市議会定例会における一般質問等の答弁概要について」、資料を基に報告があった。</p> <p>《四ツ葉学園中等教育学校事務長》</p> <p>2. 「平成30年度伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校入学者募集要項について」、応募資格や募集定員、出願手続、選抜検査とその方法、選抜日程等について、資料を基に報告があった。</p> <p>3. 「第2回槻ノ輪祭（文化祭）の開催について」、3年に1度開催する槻ノ輪祭を7月1日に開催する旨、資料を基に報告があった。</p> <p>《生涯学習課長》</p> <p>4. 「少年の主張伊勢崎市大会の開催について」、7月1日午後2時から赤堀芸術プラザにおいて開催する旨、資料を基に報告があった。</p> <p>《文化財保護課長》</p> <p>5. 「国指定史跡田島弥平旧宅発掘調査について」、昨年度から行っている発掘調査についての現地説明会を2月5日及び6月18日に開催した旨、資料を基に報告があった。</p> <p>《学校教育課長》</p> <p>6. 「本市教育の『教育ジャーナル』の掲載について」、教育ジャーナル2017年7月号の教育長訪問コーナーに、伊勢崎市のグローバル教育の充実についての記事が掲載された旨、資料を基に報告があった。</p> <p>《高橋委員》</p> <p>六本木議員の「業務適正化への取り組み」の質問について、校務支援システムを全小中学校に導入したことは、非常によいことだと思います。かなりの軽減になると思いますので、さらにより形で進めてもらえればありがたいと思います。</p> <p>《宮川委員》</p> <p>四ツ葉学園の「槻ノ輪祭」についてですが、各小学校に宣伝しているのでしょうか。小学生に宣伝し、四ツ葉学園のイベントを見てもらうことは、受検希望者の増加につながると思います。</p> <p>《四ツ葉学園中等教育学校事務長》</p> <p>小学校にはポスターを配布しています。その他、お店などにもポスターを配布し、周知に努めています。</p> <p>《津久井委員》</p> <p>「槻ノ輪祭」のネーミングの由来を教えてください。</p> <p>《学校教育課長》</p>

<p>事前質問</p>	<p>槻ノ輪の「槻」はケヤキの漢字を当てました。四ツ葉学園の前進である伊勢崎市立女子高等学校や伊勢崎市立高等学校の文化祭は、「槻祭」といいました。現在でも、当時の名残の大きなケヤキの木が校舎と校庭の間に並んでいます。「輪」という字ですが、校歌の中に「円を描こう」という歌詞があります。作詞の谷川俊太郎さんは、ケヤキの年輪がだんだん大きくなる姿を子どもたちの成長する姿の象徴としました。こういった思いから「槻ノ輪祭」としました。</p> <p>—— 事前質問 ——</p> <p>なし</p>
<p>議 事</p>	<p>—— 議案 ——</p> <p>議案第12号「伊勢崎市学校給食運営委員会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。</p> <p>書記が議案を朗読のあと、健康教育課長から資料を基に説明がされた。</p> <p>《大矢委員》</p> <p>新任と再任の内訳を教えてください。</p> <p>《健康教育課長》</p> <p>再任はNo.1、No.10、No.15の3名です。</p> <p>(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p> <p>議案第13号「伊勢崎市人権教育推進委員会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。</p> <p>書記が議案の朗読のあと、生涯学習課長から資料を基に説明がされた。</p> <p>(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p> <p>議案第14号「伊勢崎市図書館協議会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。</p> <p>書記が議案の朗読のあと、図書館課長から資料を基に説明がされた。</p> <p>《宮川委員》</p> <p>議案とは直接関係ありませんが、今月25日に「読み聞かせスキルアップ講座」が開催されます。この講座は例年2月頃に開催されていたかと思いますが、この時期に開催することになった理由を教えてください。</p> <p>《図書館課長》</p> <p>この事業は今年度、生涯学習課から図書館課に移管されました。スキルアップ講座を早い時期に行い、受講者にそれを活用して活動してもらいたいと考え、この時期に設定しました。</p> <p>《宮川委員》</p> <p>毎年2月頃に行っていた講座はなくなるのでしょうか。</p> <p>《図書館課長》</p> <p>年2回計画していますので、後半にも開催します。</p> <p>《津久井委員》</p> <p>議案とは直接関係ありませんが、広報で「ボランティア募集」の記事を見ました。ボランティアの応募状況を教えてください。また、ボランティアは伊勢崎市図書館だけなののでしょうか。例えば、境図書館では募集していない</p>

<p>その他の事項</p> <p>閉 会</p>	<p>のでしょうか。</p> <p>《図書館課長》</p> <p>図書館応援団として募集しました。これまでも継続してボランティアとして活動してくれている人と読み聞かせの人を含めると大人数になりますが、今回新しく応募してくれた人は、約20名です。ボランティアの活動場所ですが、スタート時は伊勢崎市図書館において職員と一緒に仕事をする中でスキルを磨いてもらい、その後、市内の各図書館に配置をしていく予定です。</p> <p>《津久井委員》</p> <p>ボランティアに募集したいという知人がいましたが、境図書館希望だったのでお伺いしました。</p> <p>(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p> <p>——— その他の事項 ———</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の教育委員会の日程について 7月25日(火) 午後2時00分 教育研究所 <p>——— 閉会宣言 ———</p> <p>以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。</p>
--------------------------	---

伊勢崎市教育委員会会議録

平成29年7月25日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	<p>平成29年7月25日(火) 教育研究所</p> <p>◇ 会議日程 ◇</p> <p>第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長報告 第6 事前質問事項 第7 議事 第8 その他の事項 第9 閉会宣言</p> <p>※出席委員</p> <p>1番 徳江基行 2番 大矢光利 3番 宮川亮子 4番 高橋慶一 5番 津久井喜代己</p> <p>※説明のため出席した者</p> <table border="0"> <tr> <td>教 育 部 長</td> <td>荻 原 利 美</td> </tr> <tr> <td>教 育 副 部 長</td> <td>村 井 通 浩</td> </tr> <tr> <td>総 務 課 長</td> <td>定 形 泰 明</td> </tr> <tr> <td>教 育 施 設 課 長</td> <td>小 野 塚 博 久</td> </tr> <tr> <td>学 校 教 育 課 長</td> <td>三 村 国 宏</td> </tr> <tr> <td>四ツ葉学園中等教育学校事務長</td> <td>山 崎 芳 宣</td> </tr> <tr> <td>健 康 教 育 課 長</td> <td>戸 田 康 一</td> </tr> <tr> <td>生 涯 学 習 課 長</td> <td>二 上 哲 也</td> </tr> <tr> <td>図 書 館 課 長</td> <td>井 野 幸 枝</td> </tr> <tr> <td>文 化 財 保 護 課 長</td> <td>福 田 徹</td> </tr> </table> <p>※総務課職員出席者</p> <table border="0"> <tr> <td>書 記</td> <td>田部井 恵美子</td> </tr> <tr> <td>書 記</td> <td>阿左美 裕 美</td> </tr> <tr> <td>書 記</td> <td>金 井 愛 実</td> </tr> </table>	教 育 部 長	荻 原 利 美	教 育 副 部 長	村 井 通 浩	総 務 課 長	定 形 泰 明	教 育 施 設 課 長	小 野 塚 博 久	学 校 教 育 課 長	三 村 国 宏	四ツ葉学園中等教育学校事務長	山 崎 芳 宣	健 康 教 育 課 長	戸 田 康 一	生 涯 学 習 課 長	二 上 哲 也	図 書 館 課 長	井 野 幸 枝	文 化 財 保 護 課 長	福 田 徹	書 記	田部井 恵美子	書 記	阿左美 裕 美	書 記	金 井 愛 実
教 育 部 長	荻 原 利 美																										
教 育 副 部 長	村 井 通 浩																										
総 務 課 長	定 形 泰 明																										
教 育 施 設 課 長	小 野 塚 博 久																										
学 校 教 育 課 長	三 村 国 宏																										
四ツ葉学園中等教育学校事務長	山 崎 芳 宣																										
健 康 教 育 課 長	戸 田 康 一																										
生 涯 学 習 課 長	二 上 哲 也																										
図 書 館 課 長	井 野 幸 枝																										
文 化 財 保 護 課 長	福 田 徹																										
書 記	田部井 恵美子																										
書 記	阿左美 裕 美																										
書 記	金 井 愛 実																										
開 会	<p>———— 開会宣言 ————</p> <p>教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。</p>																										
会議録署名委員の指名	<p>———— 会議録署名委員の指名 ————</p> <p>教育長から会議録署名委員として2番 大矢委員、3番 宮川委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。</p>																										
前回会議録の承認	<p>———— 前回会議録の承認 ————</p> <p>6/20の会議録の承認を求め、承認された。</p>																										

会議録署名委員の署名

——— 会議録署名委員の署名 ———

6 / 20 の会議録の承認があり、署名をいただいた。

6 / 20 教育長、津久井委員、大矢委員署名

教育長報告

——— 教育長報告 ———

《学校教育課長》

1. 「平成29年度群馬県中体連春季大会結果について」、団体の部及び個人の部の結果について、資料を基に報告があった。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

2. 「平成29年度群馬県高体連関係大会結果について」、後期課程の高校総体・インターハイ予選結果について、資料を基に報告があった。

《生涯学習課長》

3. 「少年の主張伊勢崎市大会の結果について」、7月1日に赤堀芸術文化プラザで行われた伊勢崎市大会から選出された5名が、8月5日に吉岡町文化センターで開かれる中部地区大会に出場する旨、資料を基に報告があった。

《図書館課長》

4. 「夏休み子ども向け各種事業について」、各図書館において、読書感想文の書き方講座をはじめとする各種事業を開催する旨、資料を基に報告があった。

《文化財保護課長》

5. 「伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館『夏休みキッズデー』の開催について」、8月3日から5日の3日間、はたおり体験やプラ板ストラップ作り等を開催する旨、資料を基に報告があった。

《宮川委員》

少年の主張についてですが、発表の順番はどのように決めているのですか。

《生涯学習課長》

1年に1校ずつずらして、中学校の順番を決めています。抽選で決めたらどうかというアンケート結果もありましたが、今のところは1年に1校ずつずらす順番です。

《宮川委員》

みなさんすばらしい発表でしたが、代表に選ばれた子どもが後半に集中していたような気がしたので伺いました。

《生涯学習課長》

参考にさせていただきます。

《高橋委員》

今年は第一中学校スタートでしたが、たまたまだったのですね。

《津久井委員》

同じく少年の主張についてお尋ねします。発表者の情熱や力がとても伝わってきましたが、私たちが聞くのではなく、子ども同士で聞いたらよいと思いました。各学校内で学校代表者の発表は聞いていると思いますが、他の学校の代表者の発表を聞くことがあれば、私が感動したよりも、子どもはもっと感動するのではないのでしょうか。訴えかけている発表者本人も、私たちへの訴えではなくて、子ども同士の中での訴えかけだと思えます。発表を聞かせてもらえる

ことは大変ありがたいのですが、せめて近場の中学校の発表を聞く機会があればよいと思いました。

《学校教育課長》

各中学校では、国語の時間に、作文の書き方や身の回りの課題性のある出来事を話した上で、それぞれの生徒が少年の主張の原案を書きます。それをもとに学級大会を行い、学級大会の代表で学年大会を、学年大会の代表で全校大会を開き、すべての生徒がすばらしい主張を聞くようになっております。市大会や中部地区大会に選出された発表以外にもすばらしい主張があり、よい意見については、各学校の先生が紹介しております。また、文化会館で行われる人権啓発フェスティバルにおいても、優れた作文を一般市民に向けて発表しております。すばらしい主張を色々な人に聞いていただき、子どもたちの糧にしてもらいたいと思っております。

《徳江教育長》

公民館でも発表はしています。例えば、茂呂地区では、青少年健全育成大会において少年の主張を地域の人たちに向けて発表しています。また、宮郷地区では、11月に宮郷っ子を育てる大会というものがあり、地域の人たちが集まった中で少年の主張を発表しています。

《津久井委員》

大人に聞いてもらうよりも、同世代の子どもや下の小学生に聞いてもらいたいと思いました。

事前質問

—— 事前質問 ——

なし

議 事

—— 議案 ——

議案第15号「平成30年度使用教科用図書の採択について」教育長から地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6項により秘密会にて審議したい旨の発言があり、委員了承により秘密会での審議となった。

議案第16号「伊勢崎市立学校における学校運営協議会規則の一部改正に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

書記が議案の朗読のあと、学校教育課長から資料を基に説明がされた。

《津久井委員》

コミュニティスクールに指定された11校の学校と、そうでない学校の違いを教えてください。

《学校教育課長》

すべての学校には学校評議員が置かれており、校長の求めにより、学校運営が適切に行われているかどうかをチェックします。学校評議員に意見を求める事項については校長が判断するため、その中身について教育委員会が関わることはありません。

一方、コミュニティスクールですが、以前は教育委員会が指定し、今回の改正では設置が努力義務化されたわけですが、コミュニティスクールを設置した学校については、地域とともにある学校づくりを進めることができます。教育委員会が委嘱する学校運営協議会委員は、学校運営について意見を

述べたり、教職員の人事に対する要望を述べたりすることができます。

《徳江教育長》

伊勢崎市では5年以上行っております。先進地域としてどんなことが話題になっているか、紹介してください。

《学校教育課長》

平成19年度に北小学校で最初のコミュニティスクールができました。「まちは学校、学校はまち」というキャッチフレーズの下、地域とともに学校をつくるということでスタートしました。その後、年々少しずつ増やしていき、平成29年度には各中学校区に1校設置するところまで発展しました。具体的な取り組みとしては、例えば北小学校では、学校運営協議会で決めた事柄、例えばみんなであいさつをしよう、みんなで本を読もうといった内容のチラシを学校運営協議会が作って地域に配布したり、第四中学校では、学校運営協議会で「のぼり」を作って中体連に応援に行ったり、地域の方々が教育に参画し応援する体制ができています。

この取り組みは、群馬県では最先端のものであり、今回の法改正で努力義務化されたことで各市町村からも問い合わせがきていますので、具体的な事例について発信しております。

《津久井委員》

「まちは学校、学校はまち」というのは、すてきなスローガンですね。全ての学校でコミュニティスクールを設置することは可能でしょうか。

《学校教育課長》

文科省の方向性とする、教育再生実行会議の中では全ての学校に設置したい意向でした。しかし実際に全ての学校に設置すると、地域が薄らぐ危惧があり、今回の法改正の中では、小中学校合同で学校運営協議会を設置してよいという文面が入っております。中学校区に一つ設置し、地域全体で子どもを育てる方向性が示されました。伊勢崎市では、この方向性を大事にしながら、各中学校区に1校置いて、中学校区を単位に目指す教育課程や学校支援ボランティアを共有し、自立した子どもの教育ができる体制を作っていきたいと考えております。

《高橋委員》

あずま南小学校で学校運営協議会委員をしております。あずま南小学校の応援団ということで動いていますが、あずま地区全体を考えた方がいいと思っております。今の説明でよく分かりました。中学校に設置されているところや、中学校区に中学校1校、小学校1校といった小さい規模のところは、割りと上手く進むと思います。

《学校教育課長》

今年度で各中学校区に1校ずつ設置しました。設置校は小学校、中学校に分かれていて統一はとれておりません。今年度は、年4回あるうちの1回は小中学校合同で学校評議員会、学校運営協議会を行ってもらおうよう、校長会をお願いをしました。区長や民生委員はほぼ一緒であることが多く、各学校の教育を共有化し、地域としての方向性が持てるとよいと思います。また、伊勢崎市は行政区と中学校区がほぼ同じという特徴があります。このメリットを生かして、伊勢崎市独自の学校運営協議会の体制づくりをしていきたいと考えております。

《高橋委員》

過去に、小学校と中学校の合同学校評議員会というのはありました。同じようなイメージで学校運営協議会に持っていくということですね。

《大矢委員》

第6条第2項のところで、「教育委員会に推薦することができる」を「承認及び任命に関する意見を教育委員会に申し出ることができる」に変えた目的や違いについて教えてください。

《学校教育課長》

法改正に基づき変更したものです。推薦と意見具申の違いですが、推薦では、校長の意見で委員が決まります。意見具申では、校長の意見は大切にしながら上で教育委員会の意向も含みます。これまでは指定学校の校長に任せていましたが、今後は教育委員会の主導で委員を承認していくことになります。

《宮川委員》

学校運営協議会の課題はありますか。

《学校教育課長》

一番の課題は、それぞれの校長には学校づくりのビジョンがありますが、それを教育委員会の主導によって、地域とともにある学校づくりをしていく必要があるところです。また、連携の方法や地域の方々とのビジョンづくり等、作業面での課題に難しさがあると考えております。

《高橋委員》

あずま南小学校では、学校の先生からは言えないことを、学校運営協議会が便りで保護者に知らせています。

《徳江教育長》

あずま南小学校の学校運営協議会の活動内容を、もう少し具体的に説明してもらえますか。

《高橋委員》

低学年、中学年、高学年の先生と3人くらいの委員で、学級の課題や学年の課題について話し合いをしています。話し合いを通して、課題が明確になります。私が出た高学年の話し合いでは、一部で教科担任制を取り入れているのですが、今年度は教科担任制ができて、来年度はできなくなる心配があるとのことでした。話し合いの中で解決しないかもしれませんが、地域に理解してもらうことが重要だと思います。また、学校運営協議会の便りですが、去年はゲームの時間について伝えました。今年はもっと家族の話し合いを持とうといった内容を出す予定です。学校運営協議会の名前をどんどん使って、先生が言いたいことを出してくださいと話しています。

《大矢委員》

学校からだと一方的ですが、学校運営協議会であれば地域の代表が入っていますから言いやすくなりますね。

《宮川委員》

クッションの役割になりますね。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第17号「平成30年度伊勢崎市立幼稚園の定員について」教育長から上程があった。

書記が議案の朗読のあと、学校教育課長から資料を基に説明がされた。

《宮川委員》

あかぼり幼稚園、あずま幼稚園は前から定員が多かったように思いますが、第一幼稚園も同じく110人という定員になるということで、うれしく思います。以前は少人数でしたので、定員数に期待を感じます。

《徳江教育長》

すでに3年保育を実施している第一幼稚園、名和幼稚園、あかぼり幼稚園については、3歳児の入学希望者が多くいました。3年保育の実施に先立って実施した保護者アンケートでも、市立幼稚園の3年保育の希望者が大変多かったのも、予定よりも1年早めて、平成29年度から試行的に3年保育を実施しているところです。来年度からはもう少し拡充をしますので、ぜひたくさんのお子どもたちに市立幼稚園に入ってもらいたいと思います。

《津久井委員》

第一幼稚園の視察がありましたが、帰りの時間が近かったのも、幼稚園教育の特徴や方針が分からなかったのが残念でした。魅力ある幼稚園づくりをお願いしたいと思います。しっかりした幼児教育から伊勢崎市のお子どもが育っていくと思いますので、期待しています。

《学校教育課長》

市立幼稚園では、園長先生をはじめとする先生方が熱い気持ちを持っていて、教育の理想を追求しようとしています。次期学習指導要領においては、非認知的学力が重視され、自立心や社会性を育むことが、将来の学力向上や人間力、幸せな人生につながるかとされています。これまで、市立幼稚園では非認知的学力を重視した教育を行ってまいりましたが、昨今の早期教育で詰め込み教育がよいという風潮があり、市立幼稚園のよさが伝わりにくかったところがありました。非認知的学力が世の中に認識されてきましたので、もっとも市立幼稚園の魅力を発信していきたいと考えております。
(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

その他の事項

——— その他の事項 ———

・ 次回の教育委員会の日程について

8月17日(木) 午後2時00分 北館4階会議室

閉 会

——— 閉会宣言 ———

以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。

伊勢崎市教育委員会会議録

平成29年8月17日

伊勢崎市教育委員会

<p>開催年月日 開催の場所</p>	<p>平成29年8月17日(木) 伊勢崎市役所 北館4階会議室 ◇ 会 議 日 程 ◇ 第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長報告 第6 事前質問事項 第7 議事 第8 その他の事項 第9 閉会宣言 ※出席委員 1番 徳江基行 2番 大矢光利 3番 宮川亮子 4番 高橋慶一 5番 津久井喜代己 ※説明のため出席した者 教 育 部 長 荻原利美 教 育 副 部 長 村井通浩 総 務 課 長 定形泰明 教 育 施 設 課 長 小野塚博久 学 校 教 育 課 長 三村国宏 四ツ葉学園中等教育学校事務長 山崎芳宣 健 康 教 育 課 長 戸田康一 生 涯 学 習 課 長 二上哲也 図 書 館 課 長 井野幸枝 文 化 財 保 護 課 長 福田 徹 ※総務課職員出席者 書 記 田部井 恵美子 書 記 阿左美 裕美 書 記 金 井 愛実</p>
<p>開 会</p>	<p>———— 開会宣言 ———— 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。</p>
<p>会議録署名委員の指名</p>	<p>———— 会議録署名委員の指名 ———— 教育長から会議録署名委員として3番 宮川委員、4番 高橋委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。</p>
<p>前回会議録の承認</p>	<p>———— 前回会議録の承認 ———— 7/25の会議録の承認を求め、承認された。</p>

会議録署名委員の署名

—— 会議録署名委員の署名 ——

7 / 25 の会議録の承認があり、署名をいただいた。

7 / 25 教育長、大矢委員、宮川委員署名

教育長報告

—— 教育長報告 ——

《学校教育課長》

1. 「教職員全体研修会について」、8月3日、伊勢崎市文化会館において教職員全体研修会を開催し、約1,000名の教職員が参加した旨、資料を基に報告があった。

《生涯学習課長》

2. 「少年の主張中部地区大会の結果について」、8月5日、吉岡町文化センターで行われた中部地区大会において、伊勢崎市代表の5名が発表し、うち最優秀賞に選ばれた2名が9月16日に群馬県公社総合ビルで開かれる群馬県大会に推薦された旨、資料を基に報告があった。

《文化財保護課長》

3. 「伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館企画展『白黒写真に見る郷土とフィルムカメラ展』の開催について」、9月23日から10月29日まで、赤堀歴史民俗資料館において、昭和初期の老舗の写真やその時代に活躍していたフィルムカメラ等を展示する旨、資料を基に報告があった。

《高橋委員》

企画展ですが、ポスターを貼って告知するのですか。

《文化財保護課長》

ポスターは貼っておりませんが、チラシを小中学校等に配布してあります。また、市のホームページに掲載し、定例記者会見に提出しました。

《高橋委員》

教職員全体研修会はよかったと思います。特に、スマホの使用についての話がよかったと思います。睡眠や読書はいいと言われていますが、その根拠が的確に示されたので理解しやすかったです。食事や睡眠をとらなくてはならない理由が理解できました。

《徳江教育長》

教職員からの意見はどうでしたか。

《学校教育課長》

教職員からもよかったという話がありました。早寝・早起き・朝ごはんの大切さがデータを基に、科学的根拠に基づいて理解できたという意見や、これを学校通信や学級通信で、子どもたちや保護者に伝えたいという意見がありました。

《宮川委員》

読書や100マス計算が大事ということは耳に入っていましたが、その根拠を分かりやすく説明していただいたので、よかったです。最初は脳や前頭前野と言われてもピンとこなかったのですが、聞いているうちに納得でき、分かりやすかったと思いました。

この研修会は12年ぶりの開催ということでしたが、今後の開催についてはどうでしょうか。

<p>事前質問</p> <p>議 事</p>	<p>《学校教育課長》</p> <p>出席した教職員からは好評で、こういう研修会ならば毎年開催してもらいたいという声が多くありました。一方で、臨海学校と重なり参加できなかった教員がいたり、中学校では、県の総合体育大会が終わったばかりで関東大会へ進むところの教員からは、この時期でなくてもという声があったりしました。また、来年からは文化会館の改修工事が始まります。6月の教育再生実行会議では、「教師の日」を作ったらどうかという提言がありました。色々なことを総合的に考えながら、実施の時期や方向性について検討してまいります。</p> <p>—— 事前質問 ——</p> <p>なし</p> <p>—— 議案 ——</p> <p>議案第18号「平成29年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出補正予算(第1号)の見積りについて」教育長から上程があった。</p> <p>書記が議案を朗読のあと、教育部長から資料を基に説明がされた。</p> <p>《高橋委員》</p> <p>田島弥平旧宅案内所の移設については、今ある案内所を旧境島小学校の校舎内に移すということですか。</p> <p>《文化財保護課長》</p> <p>現在、校舎の西側にある田島弥平旧宅案内所は、暫定的に世界遺産登録前から設けているものです。旧境島小学校校舎の有効活用ということで、校舎1階の西側部分を案内所兼展示室として使うことが決定しましたので、そのための整備費用になります。</p> <p>《教育部長》</p> <p>現在の田島弥平旧宅案内所は、高齢政策課が所管する「福祉交流館しまむら」の施設を間借りしています。この施設を高齢政策課に返還し、教育部所管の施設に案内所を移設する形になります。</p> <p>《高橋委員》</p> <p>元に戻す形ですね。</p> <p>《大矢委員》</p> <p>学校給食センターの国庫補助金の採択見送りについて、説明をお願いします。</p> <p>《健康教育課長》</p> <p>文部科学省に国庫補助金の申請をしておりました。4月下旬、平成29年度国庫補助金については見送る旨の決定通知があり、事業を実施するにあたっての財源を、合併特例債事業に移し変えることしました。合併特例債の充当率は95パーセントですので、残りの5パーセントを一般会計の繰出金として計上しました。</p> <p>《宮川委員》</p> <p>合併特例債はいつまで使えるのですか。</p> <p>《健康教育課長》</p> <p>合併特例法に基づき、新しい伊勢崎市についての合併協定書と新市建設計画を合併協議会が作成し、県を通じて国に提出しており、この計画の中にあ</p>
------------------------	---

る事業は、合併特例債事業に認定されます。この合併特例債ですが、当初は合併から10年間、その後5年間延長になり合併から15年間発行できます。今回の新学校給食調理場建設についても、それぞれの自治体の学校給食調理場が統合するというので、合併特例債事業に当たると認められたものです。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第19号「平成29年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計歳入歳出補正予算(第1号)の見積りについて」教育長から上程があった。

書記が議案の朗読のあと、教育副部長から資料を基に説明がされた。

《大矢委員》

国庫補助金の見送りは残念でしたね。

《徳江教育長》

国庫補助金がなくなったため、財源変更が必要になりました。

《宮川委員》

4ページ一番上段のマイナスは、国の補助金がもらえなかったということですね。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第20号「(仮称)新学校給食調理場建築工事請負契約の締結について」教育長から上程があった。

書記が議案の朗読のあと、健康教育課長から資料を基に説明がされた。

《高橋委員》

共同企業体とは何でしょうか。

《健康教育課長》

伊勢崎市建設工事に係る共同企業体取扱要綱が定められております。市が発注する大規模であって技術難度の高い工事等について、確実かつ円滑な施工を図ることを目的として結成するものです。建設業者の信用、技術施工能力等を勘案し、技術力の結集等により効果的施工が確保できると認められる場合に、特定建設工事共同企業体、いわゆるJVというものを設置します。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第21号「(仮称)新学校給食調理場給排水衛生・厨房設備工事請負契約の締結について」教育長から上程があった。

書記が議案の朗読のあと、健康教育課長から資料を基に説明がされた。

《大矢委員》

建築工事と給排水衛生・厨房設備工事とは、同じくらいの金額がかかるのですね。

《健康教育課長》

建築工事は建物本体の施工になります。給排水衛生・厨房設備工事は、厨房機器が既製品のものではないため高額になります。施工工事は工事の内容に応じて切り分けており、切り分け方法については、先ほどの取扱要綱の中で対象工事の種類と規模が定められています。

《徳江教育長》

できるだけ細かく分けて小口で作っていくため、複数の調理ラインが必要となり、そのための厨房機器となっています。

《健康教育課長》

昨年度実施した詳細設計において、全体の設計額を算出しました。その中から、対象工事の種類に応じた事業の切り分けが行われ、それぞれの工事費が出ております。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第22号「(仮称)新学校給食調理場空調設備工事請負契約の締結について」教育長から上程があった。

書記が議案の朗読のあと、健康教育課長から資料を基に説明がされた。

《大矢委員》

ヒカリS.Eは地元業者ですか。

《健康教育課長》

市内業者です。参考までに、今回の工事における業者選定は、全て市内業者です。

《徳江教育長》

指名競争入札ということで、伊勢崎市内のきちんとした業者を選定させていただいております。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第23号「(仮称)新学校給食調理場電気設備工事請負契約の締結について」教育長から上程があった。

書記が議案の朗読のあと、健康教育課長から資料を基に説明がされた。

《津久井委員》

この4つの工事で学校給食センターが完成すると考えてよいのでしょうか。

《健康教育課長》

建物本体、給排水衛生・厨房設備、空調設備、電気設備の4つに切り分けて、確実に工事を施工していきます。最終的には9月議会議決後に本契約となりますが、翌年9月末日を工期とし、完成を目指してまいります。

《教育部長》

学校給食調理場の本体・設備については、今回契約する4件で完成します。付帯する外構や駐車場等については、平成30年度以降の発注になります。

《宮川委員》

とても大きい金額です。すばらしい学校給食調理場を期待します。

《健康教育課長》

まだ議決前ではありますが、着実な工事完成とその後の安定的な調理場運営について、責任を持って対処していきたいと思っております。

《徳江教育長》

第一調理場については築45年と老朽化しております。新学校給食調理場については、食の安全対策に万全を期した設計、施工となっており、最新の設備で子どもたちに安心安全な給食を提供していきたいと思っております。

《津久井委員》

伊勢崎市教育委員会会議録

平成29年9月25日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	<p>平成29年9月25日(月) 伊勢崎市役所 北館4階会議室</p> <p>◇ 会 議 日 程 ◇</p> <p>第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長報告 第6 その他の事項 第7 閉会宣言</p> <p>※出席委員</p> <p>1番 徳江基行 2番 大矢光利 3番 宮川亮子 4番 高橋慶一 5番 津久井喜代己</p> <p>※説明のため出席した者</p> <table border="0"> <tr> <td>教 育 部 長</td> <td>荻原利美</td> </tr> <tr> <td>教 育 副 部 長</td> <td>村井通浩</td> </tr> <tr> <td>総 務 課 長</td> <td>定形泰明</td> </tr> <tr> <td>教 育 施 設 課 長</td> <td>小野塚博久</td> </tr> <tr> <td>学 校 教 育 課 長</td> <td>三村国宏</td> </tr> <tr> <td>四ツ葉学園中等教育学校事務長</td> <td>山崎芳宣</td> </tr> <tr> <td>健 康 教 育 課 長</td> <td>戸田康一</td> </tr> <tr> <td>生 涯 学 習 課 長</td> <td>二上哲也</td> </tr> <tr> <td>図 書 館 課 長</td> <td>井野幸枝(代理 正田清江)</td> </tr> <tr> <td>文 化 財 保 護 課 長</td> <td>福田徹</td> </tr> </table> <p>※総務課職員出席者</p> <table border="0"> <tr> <td>書 記</td> <td>田部井 恵美子</td> </tr> <tr> <td>書 記</td> <td>阿左美 裕美</td> </tr> <tr> <td>書 記</td> <td>金井 愛実</td> </tr> </table>	教 育 部 長	荻原利美	教 育 副 部 長	村井通浩	総 務 課 長	定形泰明	教 育 施 設 課 長	小野塚博久	学 校 教 育 課 長	三村国宏	四ツ葉学園中等教育学校事務長	山崎芳宣	健 康 教 育 課 長	戸田康一	生 涯 学 習 課 長	二上哲也	図 書 館 課 長	井野幸枝(代理 正田清江)	文 化 財 保 護 課 長	福田徹	書 記	田部井 恵美子	書 記	阿左美 裕美	書 記	金井 愛実
教 育 部 長	荻原利美																										
教 育 副 部 長	村井通浩																										
総 務 課 長	定形泰明																										
教 育 施 設 課 長	小野塚博久																										
学 校 教 育 課 長	三村国宏																										
四ツ葉学園中等教育学校事務長	山崎芳宣																										
健 康 教 育 課 長	戸田康一																										
生 涯 学 習 課 長	二上哲也																										
図 書 館 課 長	井野幸枝(代理 正田清江)																										
文 化 財 保 護 課 長	福田徹																										
書 記	田部井 恵美子																										
書 記	阿左美 裕美																										
書 記	金井 愛実																										
開 会	<p>———— 開会宣言 ————</p> <p>教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。</p>																										
会議録署名委員の指名	<p>———— 会議録署名委員の指名 ————</p> <p>教育長から会議録署名委員として4番 高橋委員、5番 津久井委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。</p>																										
前回会議録の承認	<p>———— 前回会議録の承認 ————</p> <p>8/17の会議録の承認を求め、承認された。</p>																										
会議録署名委員の署名	<p>———— 会議録署名委員の署名 ————</p> <p>8/17の会議録の承認があり、署名をいただいた。</p>																										

教育長報告

—— 教育長報告 ——

《教育部長》

1. 「平成29年第4回伊勢崎市議会定例会における一般質問に対する答弁概要について」、資料を基に報告があった。

《教育施設課長》

2. 「平成29年度伊勢崎佐波職工組合奉仕作業報告について」、8月22日、小・中学校及び幼稚園の計31施設において、建物等の簡易な補修作業が奉仕において行われた旨、資料を基に報告があった。

《学校教育課長》

3. 「夏季休業中の児童生徒の活躍状況について」、小学校水泳教室記録会、中学校総合体育大会、吹奏楽コンクール及び合唱コンクールの結果について、資料を基に報告があった。
4. 「伊勢崎市中学生海外語学研修帰国報告会の実施状況について」、9月2日市役所東館で実施し、海外語学研修に参加した生徒70名が14日間の研修で体験した成果について発表した旨、資料を基に報告があった。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

5. 「四ツ葉学園中等教育学校グローバルスタディーズキャンプ及びアカデミックキャンプの実施結果について」、アカデミックキャンプでは、8月30日から9月1日までの2泊3日で、2学年が最先端技術や本物に触れる体験活動を実施し、グローバルスタディーズキャンプでは、9月4日から9月6日までの2泊3日で、4学年が未来・世界を感じる英語研修やグローバル研修を実施した旨、資料を基に報告があった。
6. 「入学者選抜説明会の開催について」、10月21日、小学校6年生の児童及び保護者を対象に開催する旨、資料を基に報告があった。

《図書館課長》

7. 「夏休み子ども向け事業の実施報告について」、各図書館において、読書感想文の書き方講座をはじめとする各種事業を実施した旨、資料を基に報告があった。

《宮川委員》

四ツ葉学園の子どもたちが、一生懸命がんばっている様子が伝わりました。先日、四ツ葉学園の授業参観がありました。学校の雰囲気明るく、子どもたちは明るくあいさつをしてくれました。英語の授業をととても楽しそうに受けており、私たちの頃とは随分違うなと思いながら参観しました。とてもがんばっている様子が分かりました。

アカデミックキャンプとは、中学校の修学旅行みたいなものですか。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

校外学習です。3年生で関西方面に宿泊を伴う旅行があり、それが修学旅行になります。

《宮川委員》

2泊3日で行かれますね。

《学校教育課長》

どの中学校も、東京校外学習を日帰りまたは1泊2日で行っております。四

	<p>ツ葉学園においては、2泊3日でしっかり時間を確保し、最先端の技術や本物に触れるテーマのもと、生徒が「環境」「伝統文化」「ものづくり」「多文化理解」を踏まえた課題追及学習を行うところに特徴があります。生徒たちは、この体験をもとにしたレポートを作り、課題追求学習を締めくくります。また、6年間の学びの中で、自分たちの学習が社会の中でどのように発展していくのかというビジョンを持たせて勉強をするための、きっかけとなる事業だと考えております。</p> <p>《宮川委員》</p> <p>6年間かけて計画的に授業を行っているということで、6年間を見通して授業を進めることができることは、他の中学校にはないよさだと思います。四ツ葉学園の成果を、他の中学校でも参考にしてもらえるとよいと思います。</p> <p>《津久井委員》</p> <p>四ツ葉学園の公開授業では、生徒一人ひとりが授業に参加し、先生の話を中心に聞いており、とても好感が持てました。6年間を通して子どもたちを見ることができ、素晴らしいと思います。</p> <p>入学者選抜についてお尋ねします。説明会は市外の小学校と市内の小学校で分かれています。市内の希望者を優先することはあるのでしょうか。また、市内小学校からの推薦制度はありますか。</p> <p>《四ツ葉学園中等教育学校事務長》</p> <p>市内、市外のどちらかを優先することは一切ありません。遠くの市外は早めの午前中に来ていただき、近くの市内は午後とするもので、説明内容は全く同じです。</p> <p>《津久井委員》</p> <p>市内と市外の割合が決まっているわけではなく、市内を優先することは全くないということですね。</p> <p>《四ツ葉学園中等教育学校事務長》</p> <p>はい、優先することはありません。全て平等です。</p>
事前質問	<p>—— 事前質問 ——</p> <p>なし</p>
その他の事項	<p>—— その他の事項 ——</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の教育委員会の日程について <p>10月19日（木）午前10時00分 あずま小学校</p>
閉会	<p>—— 閉会宣言 ——</p> <p>以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。</p>

伊勢崎市教育委員会会議録

平成29年10月19日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	<p>平成29年10月19日(木)</p> <p>あずま小学校</p> <p>◇ 会 議 日 程 ◇</p> <p>第1 開会宣言</p> <p>第2 会議録署名委員の指名</p> <p>第3 前回会議録の承認</p> <p>第4 会議録署名委員の署名</p> <p>第5 教育長報告</p> <p>第6 事前質問事項</p> <p>第7 議事</p> <p>第8 その他の事項</p> <p>第9 閉会宣言</p> <p>※出席委員</p> <p>1番 徳江基行</p> <p>2番 大矢光利</p> <p>3番 宮川亮子</p> <p>4番 高橋慶一</p> <p>5番 津久井喜代己</p> <p>※説明のため出席した者</p> <table border="0"> <tr> <td>教 育 部 長</td> <td>荻原利美</td> </tr> <tr> <td>教 育 副 部 長</td> <td>村井通浩</td> </tr> <tr> <td>総 務 課 長</td> <td>定形泰明</td> </tr> <tr> <td>教 育 施 設 課 長</td> <td>小野塚博久</td> </tr> <tr> <td>学 校 教 育 課 長</td> <td>三村国宏</td> </tr> <tr> <td>四ツ葉学園中等教育学校事務長</td> <td>山崎芳宣</td> </tr> <tr> <td>健 康 教 育 課 長</td> <td>戸田康一</td> </tr> <tr> <td>生 涯 学 習 課 長</td> <td>二上哲也</td> </tr> <tr> <td>図 書 館 課 長</td> <td>井野幸枝</td> </tr> <tr> <td>文 化 財 保 護 課 長</td> <td>福田 徹 (代理 勢藤 力)</td> </tr> </table> <p>※総務課職員出席者</p> <table border="0"> <tr> <td>書 記</td> <td>田部井 恵美子</td> </tr> <tr> <td>書 記</td> <td>阿左美 裕 美</td> </tr> <tr> <td>書 記</td> <td>金 井 愛 実</td> </tr> </table>	教 育 部 長	荻原利美	教 育 副 部 長	村井通浩	総 務 課 長	定形泰明	教 育 施 設 課 長	小野塚博久	学 校 教 育 課 長	三村国宏	四ツ葉学園中等教育学校事務長	山崎芳宣	健 康 教 育 課 長	戸田康一	生 涯 学 習 課 長	二上哲也	図 書 館 課 長	井野幸枝	文 化 財 保 護 課 長	福田 徹 (代理 勢藤 力)	書 記	田部井 恵美子	書 記	阿左美 裕 美	書 記	金 井 愛 実
教 育 部 長	荻原利美																										
教 育 副 部 長	村井通浩																										
総 務 課 長	定形泰明																										
教 育 施 設 課 長	小野塚博久																										
学 校 教 育 課 長	三村国宏																										
四ツ葉学園中等教育学校事務長	山崎芳宣																										
健 康 教 育 課 長	戸田康一																										
生 涯 学 習 課 長	二上哲也																										
図 書 館 課 長	井野幸枝																										
文 化 財 保 護 課 長	福田 徹 (代理 勢藤 力)																										
書 記	田部井 恵美子																										
書 記	阿左美 裕 美																										
書 記	金 井 愛 実																										
開 会	<p>———— 開会宣言 ————</p> <p>教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。</p>																										
会議録署名委員の指名	<p>———— 会議録署名委員の指名 ————</p> <p>教育長から会議録署名委員として5番 津久井委員、2番 大矢委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。</p>																										
前回会議録の承認	<p>———— 前回会議録の承認 ————</p> <p>9/25の会議録の承認を求め、承認された。</p>																										

会議録署名委員の署名

—— 会議録署名委員の署名 ——

9 / 25 の会議録の承認があり、署名をいただいた。

9 / 25 教育長、高橋委員、津久井委員署名

教育長報告

—— 教育長報告 ——

《学校教育課長》

1. 「伊勢崎市中学生熱中症事故調査委員会について」、10月16日、第1回調査委員会を非公開で開催した旨、報告があった。

《生涯学習課長》

2. 「平成29年度伊勢崎市地区別人権学習会の開催について」、10月11日から10月30日にかけて、北、殖蓮、三郷、宮郷、名和及び東の6地区において人権問題について考える学習会を開催する旨、資料を基に報告があった。

《図書館課長》

3. 「秋の読書週間について」、図書館や本に親しむきっかけとなるイベントとして、伊勢崎市図書館では、学習堂と郷学関連講演会及び資料展、本のお楽しみ袋（大人向け）等、赤堀図書館、あずま図書館及び境図書館においても演奏会や人形劇等の各種行事を実施する旨、資料を基に報告があった。

《文化財保護課》

4. 「田島弥平旧宅『秋の普及公開事業』と『菊花展』について」、11月19日に田島弥平旧宅の特別公開等を実施し、また、11月1日から11月19日まで桑場下屋において伊勢崎菊花同友会の協力による菊の展示を行う旨、資料を基に報告があった。

《高橋委員》

地区別人権学習会については先日新聞に載っていましたが、これまでの参加者数を教えてください。

《生涯学習課長》

北公民館の様子が新聞に掲載されました。参加者数ですが、名和公民館33名、北公民館53名、あずま公民館44名でした。残りの3地区はこれからの実施になります。

《宮川委員》

北公民館は「同和問題と人権について」の講演でしたが、このような講演会を毎年開催していてもなかなか差別が減らないという現実から、差別をなくす難しさを感じています。

《生涯学習課長》

北公民館の講師であった内林先生からは、過去の歴史を踏まえた実体験をお話いただきました。いわれのない差別と言われておりますが、言葉だけが独り歩きをしてしまうことが、理解はしてもなかなか差別がなくなる原因ではなかろうかとお話ししていました。

《津久井委員》

田島弥平旧宅についてですが、春、島村渡船フェスタとあわせて見せていただきました。たくさんの物が無造作に置かれている状態におどろきました。手を触れない状態にしたほうがよいと思われる資料が埃まみれになっており、も

ったいないと思ってしまいました。ただ、初めて見せていただいたので、大事にしようという気持ちが生まれたのも事実です。こういう機会をたくさんお知らせして、参加する人が多くなればよいと思います。

《文化財保護課長》

ご指摘いただいた場所は、田島弥平旧宅内の桑場かと思います。文化財保護課では、説明員を必ずつけるようにし、ある程度管理して展示をしているつもりでございましたが、もう一度見直したいと思います。また、同じものをずっと展示するのではなく、2度3度と来訪していただけるように、展示内容を検討していきたいと思います。

《教育部長》

田島弥平旧宅については、整備の手をつけはじめたところです。平成28年3月に田島弥平旧宅整備基本計画を策定し、本格的に手が入ったのは平成28年度からになります。基本計画に基づき、整備を進めていきたいと思います。津久井委員は旧境島小学校をご覧いただいたの感想でしょうか。

《津久井委員》

田島弥平旧宅の隣の家です。田島弥平旧宅ではありません。

《教育部長》

田島武平さんのお宅だと思います。武平さんのお宅も展示公開をしていますので、地区と協力する中で保存活用に向けて進めていきたいと思います。

《徳江教育長》

旧境島小学校跡も展示室を整備しますが、全部展示をするのではなく、必要なものは保存し、展示物を回していく仕組みで計画を進めております。

第1回熱中症事故調査委員会を開催したということですが、この委員さんはどういう委員さんですか。

《学校教育課長》

第三者委員会で、4人を指名しております。1人目は有識者で、学校経営、部活動経営、体育の指導に長けた大学教授です。2人目は医師で、腎臓や熱中症の権威であり学校保健教育にも長けた医師です。3人目は弁護士で、法律的立場から助言をいただきます。4人目は保護者代表です。委員氏名については、報告書を提示するときにあわせて公開することになっております。

《徳江教育長》

調査をよろしくお願いいたします。

事前質問

—— 事前質問 ——
なし

議 事

—— 議案 ——

議案第24号「平成29年度末教職員人事運営方針について」教育長から上程があった。

書記が議案を朗読のあと、学校教育課長から資料を基に説明がされた。

《津久井委員》

「誓約人事」「中堅教員交流人事」「へき地派遣人事」「他市町村との交流人事」という言葉について教えてください。

《学校教育課長》

誓約人事とは、言葉のとおり誓って約束するもので、例えば、県費負担教職員について初任者で配置された者は、3年から5年の間に、配置された市町村以外の市町村に必ず配置換えする決まりがある人事のことです。中堅教員交流人事とは、市の中で中堅的な教職員を、人事の活性化をねらいとして、およそ3年を目安に他市町村と交流させる人事のことです。へき地派遣人事とは、都市部には教員免許状を持っている者は多いですが、山間部には少ないことから、都市部の教員をへき地に派遣して県全体での人事の均等化を目指す人事のことです。他市町村との交流人事とは、例えば中堅として3年で戻ってくるということではなく、他の市町村に居を構えて向こうでがんばりたいというような教職員の希望をかなえる人事のことです。これらの人事交流を通して、教職員全体の活性化を図るものです。

《徳江教育長》

教員のことを県費負担教職員と呼んでいます。教員は県教育委員会で採用され、市町村教育委員会に派遣されています。県費負担教職員ということで、給料は国と県から出ています。教員の懲罰関係は県が行い、市町村は管理監督をしております。群馬県の現状ですが、教員の出身地は前橋、高崎、伊勢崎の中部地区が圧倒的に多く、自宅の近くに通うとなると、この地域の教員が余ってしまいます。反対に、西毛地区、吾妻・利根地区、東毛地区は教員が足りないという状況です。そのため、教員を採用するにあたっては、他市町村にも行くことを誓約させます。また、中堅でも他市町村との交流を図る必要があるということで、中堅教員交流人事を積極的に行っております。具体的には、前橋、高崎、伊勢崎には年齢が高い教員が多い一方で、へき地は若い教員が多く、学校管理上、バランスの取れた年齢構成が大事であることから、県と協力して人事をしております。伊勢崎市としては、できるだけよい教員に来ていただき、伊勢崎市の学力向上に努めていきたいことから、県と協調しつつも伊勢崎市の要望をしっかりと県に伝えていくため、伊勢崎市の教職員人事運営方針を定めたというところです。

《津久井委員》

その考えを受けての「伊勢崎市スクール・クリエーションプラン」ということでしょうか。

《学校教育課長》

伊勢崎市スクール・クリエーションプランというものは、各学校の特色ある学校経営を支援するものです。学校長の学校経営ビジョンを踏まえて、伊勢崎市内の教員がその学校への希望表明を行います。また、学校長は学校づくりに必要な人材の要望を出すことができます。相互の希望を聞きながら、学校長の経営理念に基づく特色ある学校づくりを進めるものがスクール・クリエーションプランになります。

その他の事項

——— その他の事項 ———

・ 次回の教育委員会の日程について

11月14日（火）午後2時30分 三郷小学校

閉 会

——— 閉会宣言 ———

	以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。
--	-------------------------

伊勢崎市教育委員会会議録

平成29年11月14日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	<p>平成29年11月14日(火) 三郷小学校</p> <p>◇ 会 議 日 程 ◇</p> <p>第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長報告 第6 事前質問事項 第7 議事 第8 その他の事項 第9 閉会宣言</p> <p>※出席委員</p> <p>1番 徳江基行 2番 大矢光利 3番 宮川亮子 4番 高橋慶一 5番 津久井喜代己</p> <p>※説明のため出席した者</p> <table border="0"> <tr> <td>教 育 部 長</td> <td>荻原利美</td> </tr> <tr> <td>教 育 副 部 長</td> <td>村井通浩</td> </tr> <tr> <td>総 務 課 長</td> <td>定形泰明</td> </tr> <tr> <td>教 育 施 設 課 長</td> <td>小野塚博久</td> </tr> <tr> <td>学 校 教 育 課 長</td> <td>三村国宏</td> </tr> <tr> <td>四ツ葉学園中等教育学校事務長</td> <td>山崎芳宣</td> </tr> <tr> <td>健 康 教 育 課 長</td> <td>戸田康一</td> </tr> <tr> <td>生 涯 学 習 課 長</td> <td>二上哲也</td> </tr> <tr> <td>図 書 館 課 長</td> <td>井野幸枝</td> </tr> <tr> <td>文 化 財 保 護 課 長</td> <td>福田 徹</td> </tr> </table> <p>※総務課職員出席者</p> <table border="0"> <tr> <td>書 記</td> <td>田部井 恵美子</td> </tr> <tr> <td>書 記</td> <td>阿左美 裕 美</td> </tr> <tr> <td>書 記</td> <td>金 井 愛 実</td> </tr> </table>	教 育 部 長	荻原利美	教 育 副 部 長	村井通浩	総 務 課 長	定形泰明	教 育 施 設 課 長	小野塚博久	学 校 教 育 課 長	三村国宏	四ツ葉学園中等教育学校事務長	山崎芳宣	健 康 教 育 課 長	戸田康一	生 涯 学 習 課 長	二上哲也	図 書 館 課 長	井野幸枝	文 化 財 保 護 課 長	福田 徹	書 記	田部井 恵美子	書 記	阿左美 裕 美	書 記	金 井 愛 実
教 育 部 長	荻原利美																										
教 育 副 部 長	村井通浩																										
総 務 課 長	定形泰明																										
教 育 施 設 課 長	小野塚博久																										
学 校 教 育 課 長	三村国宏																										
四ツ葉学園中等教育学校事務長	山崎芳宣																										
健 康 教 育 課 長	戸田康一																										
生 涯 学 習 課 長	二上哲也																										
図 書 館 課 長	井野幸枝																										
文 化 財 保 護 課 長	福田 徹																										
書 記	田部井 恵美子																										
書 記	阿左美 裕 美																										
書 記	金 井 愛 実																										
開 会	<p>———— 開会宣言 ————</p> <p>教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。</p>																										
会議録署名委員の指名	<p>———— 会議録署名委員の指名 ————</p> <p>教育長から会議録署名委員として2番 大矢委員、3番 宮川委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。</p>																										
前回会議録の承認	<p>———— 前回会議録の承認 ————</p> <p>10/19の会議録の承認を求め、承認された。</p>																										

<p>会議録署名委員の署名</p>	<p>——— 会議録署名委員の署名 ———</p> <p>10/19の会議録の承認があり、署名をいただいた。 10/19 教育長、津久井委員、大矢委員署名</p>
<p>教育長報告</p>	<p>——— 教育長報告 ———</p> <p>《学校教育課長》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「北小学校特認校制の申込結果について」、新1年生25人及び新4年生1人の申し込みがあった旨、資料を基に報告があった。 2. 「群馬県小学校陸上教室記録会の結果について」、資料を基に報告があった。 3. 「群馬県中学校新人大会の結果について」、資料を基に報告があった。 4. 「第1回伊勢崎市部活動ガイドライン検討委員会について」、10月31日伊勢崎市緋の郷において開催した旨、資料を基に報告があった。 <p>《文化財保護課長》</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 「シルク博 in 伊勢崎の開催について」、12月17日、田島弥平旧宅、旧境島小学校及び境赤レンガ倉庫において、世界文化遺産登録3周年を記念した各種イベントが開催される旨、資料を基に報告があった。 6. 「伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館企画展『昔ばなしの世界』同時開催 土屋文明記念文学館移動展『紙芝居がやってきた』の開催について」、12月16日から1月21日まで、昔ばなしの紙芝居や幻燈機の上演等を開催する旨、資料を基に報告があった。 <p>《高橋委員》</p> <p>部活動ガイドライン検討委員会についてですが、過日の市町村教育委員会研究協議会において、教職員の多忙化についての問題が出たときに、部活動の問題についても取り上げられました。この問題に対する取り組みは、はじめたところであると思われました。できるところから進めていくべきだという意見と、抜本的に進めるべきだという意見がありましたが、伊勢崎市の進め方でよいと思います。</p>
<p>事前質問</p>	<p>——— 事前質問 ———</p> <p>なし</p>
<p>議 事</p>	<p>——— 議案 ———</p> <p>議案第25号「平成29年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出補正予算(第3号)の見積りについて」教育長から上程があった。 書記が議案を朗読のあと、教育部長から資料を基に説明がされた。</p> <p>《大矢委員》</p> <p>教育施設課の中学校費、エレベーター設置設計については、どの学校になりますか。</p> <p>《教育部長》</p> <p>5年計画の中で、順次進めてまいります。当面は必要とする学校を選定し、設計を進めてまいります。</p> <p>《宮川委員》</p> <p>先日の校長会議のときに、イングリッシュサポーター事業を廃止するお話</p>

がありました。廃止する理由を教えてください。予算との兼ね合いもあると思います。イングリッシュサポーターを廃止することで浮いたお金は、どこに使うのでしょうか。

《徳江教育長》

この議案は補正予算のことになりますので、終わってからご説明したいと思います。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

《徳江教育長》

来年度予算についての質問が出ましたが、説明をお願いします。

《学校教育課長》

来年度予算については、予算要望の段階ですので確実なことではありませんが、校長会議で出た意見を説明いたします。校長会からは、毎年9月に来年度の予算要望書が上がってきます。一番の希望は、特別支援教育の充実に関わる教育支援員の増員でした。予算要求においては、中学校イングリッシュサポーターの費用を、教育支援員の拡充にもっていきます。また、来年度から小学校の英語教育が週2コマになりますので、そのための教材費にもっていきます。さらに、来年度、全ての中学校においてGTECを導入しますが、市から出る補助金にもっていきます。中学校においては、免許を持つ教員によって4技能を重視した授業展開を進めていく予定です。

《徳江教育長》

中学校のイングリッシュサポーターを廃止することによる影響はありますか。

《学校教育課長》

校長会と連絡協議しながら出た案ではありますが、一部の校長からはイングリッシュサポーターがなくなることにに対する心配の声が上がりました。イングリッシュサポーターは、免許を持つ教員と一緒にTT等を活用し、会話を重視した授業展開をしておりました。会話力については、伊勢崎市では小学校1年生から週2コマ行いますので、十分身に付くと思います。今後は、会話力に加えて書く能力を重視し、4技能をバランスよく育てまいりたいと考えております。伊勢崎市全体の英語力の向上に努めてまいりたいと思います。

《徳江教育長》

来年度の予算要求の段階であり、決まったわけではなく、この方向で検討していきたいということです。

議案第26号「伊勢崎市石川泰三教育みらい基金条例案について」教育長から上程があった。

書記が議案の朗読のあと、総務課長から資料を基に説明がされた。

《津久井委員》

補正予算の積立金500万円は、このことですね。

《総務課長》

はい、そうです。

《宮川委員》

寄付をされた方は、どういうことに使ってほしいという具体的な意思はあるのですか。

《総務課長》

具体的には、未来を担う子どもたちが国際的に活躍するための教育に使うてほしいという意向です。

《宮川委員》

有意義に活用していただきたいと思います。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第27号「赤堀小学校用地の取得について」教育長から上程があった。書記が議案の朗読のあと、教育施設課長から資料を基に説明がされた。

《大矢委員》

今、更地になっているところだけではなく、旧赤堀中学校が使っていた土地を含めて購入するということですか。

《教育施設課長》

資料2に記載の大光寺所有部分を購入します。

《徳江教育長》

ブルーに色がついた部分を買うということですか。

《教育施設課長》

はい、そうです。

《高橋委員》

「72」と「73-1」は赤堀小学校でしょうか。

《教育施設課長》

「72」と「73-1」は大光寺が所有している土地です。東には伊勢崎市所有の土地がありまして、東と西を入れ替えて等価交換します。

《大矢委員》

市が持っている土地が結構あるのですね。

《高橋委員》

大光寺の参道は「399-2」ですか。ここはこのままですか。

《教育施設課長》

「399-2」と「397-7」が現在の参道で、小学校と中学校の間になります。これを東に移動し参道を付け替えます。

《高橋委員》

入れ替えるということですね。分かりました。

《徳江教育長》

この土地には赤堀小学校と赤堀中学校と赤堀学校給食調理場があり、伊勢崎市のほかに3名の方の所有地がありました。以前はもっと複雑に入り組んでおりましたが、土地の所有面積が小さい方からは購入をし、その結果、今の筆になりました。今回は大光寺分と伊勢崎市分を確定させ、小学校が乗っている一番大きな土地と、新しく参道ができる方向の土地を等価交換し、それでもなお足りない部分が色つきの部分ですが、そこを購入するということです。地権者の皆様には、公共用地のためにたくさんのご協力をいただきまして、複雑な土地区画を現況のように整理することができました。赤堀中学校と赤堀学校給食調理場を移転することによって、この地域の公共施設の能

力は格段に上がっていくこととなります。
(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第28号「伊勢崎市図書館条例施行規則の一部を改正する規則に係る臨時代理の承認についてについて」教育長から上程があった。

書記が議案の朗読のあと、図書館課長から資料を基に説明がされた。

《大矢委員》

具体的には、どのような形で借りるのでしょうか。

《図書館課長》

ネット環境上で閲覧してもらい形になります。

《大矢委員》

図書館で閲覧するのですか。

《図書館長》

はい、そうです。自宅のWEBサイトでも、一部は閲覧できます。今現在ですと約50万点といわれております。自宅で閲覧できるものと図書館でしか閲覧できないものの差は、著作権の関係です。作者の死後50年で著作権は切れましますので、そこを待たないと自宅で閲覧することはできませんが、国立国会図書館と図書館との提携により、図書館では閲覧ができることとなります。

《徳江教育長》

閲覧はできますが、閲覧したものを複写することもできるのでしょうか。

《図書館長》

著作権の範囲で、複写も可能です。

《徳江教育長》

著作権に触れない範囲ならば複写できるけれども、著作権に触れると複写できないということですか。

《図書館長》

WEBサイトで公開されているものは著作権がクリアされておりますので、全部複写できます。図書館でしか閲覧できないものには制限があります。

《津久井委員》

閲覧したい場合は、国立国会図書館用のカードが必要になるのでしょうか。

《図書館長》

伊勢崎市の図書館カードがあれば大丈夫です。このサービスと同時に、国立国会図書館の歴史的音源というサービスも導入しました。国立国会図書館には、1900年から1950年までに国内で製造されたSP盤や金属原盤の音楽や演説等の音源で約48,700点がアーカイブされております。こちらを伊勢崎市で視聴できるサービスを導入しました。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

その他の事項

——— その他の事項 ———

・ 次回の教育委員会の日程について

12月21日(木) 午前9時30分 あずま学校給食調理場

閉 会	—— 閉会宣言 —— 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。
--------	---------------------------------------

伊勢崎市教育委員会会議録

平成29年12月21日

伊勢崎市教育委員会

<p>開催年月日 開催の場所</p>	<p>平成29年12月21日(木) あずま学校給食調理場 ◇ 会 議 日 程 ◇ 第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長報告 第6 事前質問事項 第7 議事 第8 その他の事項 第9 閉会宣言 ※出席委員 1番 徳江基行 2番 大矢光利 3番 宮川亮子 4番 高橋慶一 5番 津久井喜代己 ※説明のため出席した者 教育部長 荻原利美 教育副部長 村井通浩 総務課長 定形泰明 教育施設課長 小野塚博久 学校教育課長 三村国宏 四ツ葉学園中等教育学校事務長 山崎芳宣 健康教育課長 戸田康一 生涯学習課長 二上哲也 図書館課長 井野幸枝 文化財保護課長 福田 徹 ※総務課職員出席者 書記 田部井 恵美子 書記 阿左美 裕美 書記 金井 愛実</p>
<p>開 会</p>	<p>———— 開会宣言 ———— 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。</p>
<p>会議録署名委員の指名</p>	<p>———— 会議録署名委員の指名 ———— 教育長から会議録署名委員として3番 宮川委員、4番 高橋委員、議案の説明者として教育部長、教育副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、健康教育課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。</p>

<p>前回会議録の承認</p>	<p>—— 前回会議録の承認 ——</p> <p>11 / 14 の会議録の承認を求め、承認された。</p>
<p>会議録署名委員の署名</p>	<p>—— 会議録署名委員の署名 ——</p> <p>11 / 14 の会議録の承認があり、署名をいただいた。</p> <p>11 / 14 教育長、大矢委員、宮川委員署名</p>
<p>教育長報告</p>	<p>—— 教育長報告 ——</p> <p>《教育部長》</p> <p>1. 「平成29年第5回伊勢崎市議会定例会における一般質問に対する答弁概要について」、資料を基に報告があった。</p> <p>《教育施設課長》</p> <p>2. 「中学校トイレ改修事業完了報告について」、中学校10校の校舎トイレ及び中学校6校の体育館トイレの改修工事が完了した旨、資料を基に報告があった。</p> <p>《四ツ葉学園中等教育学校事務長》</p> <p>3. 「平成30年四ツ葉学園中等教育学校成人式について」、1月7日、四ツ葉学園中等教育学校において、四ツ葉学園中等教育学校の第2期卒業生を対象とした成人式を開催する旨、資料を基に報告があった。</p> <p>《健康教育課長》</p> <p>4. 「『伊勢崎づくしの日』の給食の提供について」、12月13日、14日の2日間、下植木ねぎ、ミルクィーシェリー、にら、キャベツ、きゅうり等の伊勢崎市産の米や野菜を多く使った給食を提供し、12月13日の北第二小学校の給食指導では、生産者と一緒に給食を食べた旨、資料を基に報告があった。</p> <p>《生涯学習課長》</p> <p>5. 「平成29年度伊勢崎市生涯学習大会の開催について」、1月13日、境総合文化センターにおいて、市民グループによる学びの成果を生かしたステージ発表等を開催する旨、資料を基に報告があった。</p> <p>6. 「平成29年度『第30回人権について考える集い』の開催について」、1月21日、伊勢崎市文化会館において、講演会や隣保館集会所事業成果発表会を開催する旨、資料を基に報告があった。</p> <p>《文化財保護課長》</p> <p>7. 「史跡上野国佐位郡正倉跡の追加指定に係る国文化審議会の答申について」、本年7月文部科学大臣あて申請をした追加指定については、来年2月に予定される官報告示を経て正式に国指定史跡に追加される見込みである旨、資料を基に報告があった。</p> <p>《高橋委員》</p> <p>一般質問では、図書館について阿久津議員と堀地議員から質問がありました。質問が出るということは、図書館の認知が高いということですので、よいことだと思います。さらによい形になっていくとよいと思います。</p> <p>栗原議員の質問のSNSの問題について、昨日テレビを見ていましたら、渋川金島中でSNSの使い方を学ぶ授業が開かれたという放送がありました。特に、休み前には注意点を伝えることが必要だと思います。伊勢崎市はこの点し</p>

っかり指導していますので、評価されてよいと思います。子どもたちにはSNSの危険性を認識してもらいたいと思います。

《図書館課長》

阿久津議員は、伊丹市立図書館を視察し、その特色ある活動について伊勢崎市の考えを聞く質問でした。先進的な図書館と見比べることで、伊勢崎市の図書館が目指すところを再認識できました。

《津久井委員》

阿久津議員の質問に出た「中学校通級指導教室」と各地区にある「ほっとる〜む」との違いを教えてください。

《学校教育課長》

通級指導教室は、軽度の発達障害や言語障害を抱えている通常学級にいる児童生徒を対象にしております。学校を離れて、北小学校、赤堀小学校、あずま小学校、境小学校の4ヶ所にある通級指導教室で指導を受けるものです。ほっとる〜むは、不登校傾向の児童生徒が対象になり、学校になかなか通えないお子さんが居場所を変えて、落ち着いて学べるようにする施設です。教育研究所、赤堀地区、東地区、境地区の4ヶ所にあります。通級指導教室とほっとる〜むについては、目的が異なります。

《徳江教育長》

市民の皆さんに分かりやすくなりますので、何でも聞いてください。ここで論議していることは、情報公開はしておりますが説明不足なところもあると思いますので、質問していただけるとありがたいです。

《宮川委員》

阿久津議員の質問は、中学校の通級指導教室についてのものですよね。

《学校教育課長》

通級指導教室は、昨年度までは小学校のみの開設でした。近年、中学校においてもニーズが増えてきたため、今年度からは中学生を対象にした通級指導教室を教育研究所内に開設しました。

《宮川委員》

場所はどこにあるのでしょうか。

《学校教育課長》

教育研究所の1階にあります。

《徳江教育長》

教育研究所は伊勢崎税務署の南側にある建物です。通級指導教室では、対象としている内容が多岐に渡っています。また、それぞれの子どもに適した時間と質を保証した個別対応が求められ、指導する上で注意が必要です。

《宮川委員》

普通に中学校に通って、学校が終わった後に通級指導教室へ通うのでしょうか。

《徳江教育長》

はい、そうです。障害というと悪いように聞こえますが、例えば言語障害であれば、濁音や半濁音が上手に言えない子どもがいます。学校に通いながら通級指導教室にも通うと、比較的短い時間で言えるようになります。また、学習障害(LD)では、知的発達には問題がなくても、書くこと、読むこと、計算といった特定の分野だけが苦手な子どもがいます。そういう子どもには、丁寧

な指導をすることが大切です。指導上で一番注意が必要なところは、子どもが自分は他の人より劣っているんだ、違っているんだと思ってしまう2次的な障害を起ささないようにすることであり、学校では非常に注意をしております。発達障害についても、人との関わりが上手くいかないことがありますので、人との関わり方のスキルについて時間をかけて教えることで改善されていきます。これまでは小学校の通級指導教室でやっておりましたが、中学生でも指導が必要なお子さんには、教育研究所内の中学校通級指導教室において個別に対応することになりました。

《大矢委員》

「いせさき学習堂事業」について教えてください。

《図書館課長》

史実において、いせさき学習堂というものがあり、学ぶ意欲が高い場所だったことが明らかになっております。その精神を受け継ぎ、図書館から学びの場を発信していこうとする考えの下、今年度から市民を対象とした講演会等に「いせさき学習堂」の冠をつけて、事業に取り組んでおります。今後は、伊勢崎市の地元の歴史をもう一度見直す分野に力を入れ、その部分をいせさき学習堂事業と位置づけたいと考えております。

《大矢委員》

生涯学習の分野ですか。大人のふるさと学習のようなものですか。

《図書館課長》

はい、そうです。

《徳江教育長》

伊勢崎市では、江戸時代の終わり頃から民間の力による地域人材を育てる仕組みが上手く機能していたようです。地域それぞれに青年教育の学校である郷学堂があり、藩校の学習堂から先生が派遣され、高い教育がなされておりました。今は大変不透明な時代であり、学び続けることが大切です。図書館課では「いせさき学習堂」という冠をつけて、新しい知を求めて生涯学習を進めていきます。同じような考えの下、学校教育でも、小中一貫教育やグローバル教育をしっかりと進めていきたいと考えております。

事前質問

—— 事前質問 ——

なし

議 事

—— 議案 ——

議案第29号「平成29年度伊勢崎市教育委員会所管事務の点検・評価及び公表の基本方針について」教育長から上程があった。

書記が議案を朗読のあと、総務課長から資料を基に説明がされた。

《宮川委員》

今年度から学識経験者が2名に増員されたということですが、2名の方には分野を分けて見てもらうのでしょうか。同じ内容を見てもらうのでしょうか。

《総務課長》

2名の学識経験者にお願いしますが、一人は大学教授の方であり、教育行政全般を見ていただきます。もう一人は教育委員長経験者で経済に明るい方

<p>その他の事項</p> <p>閉 会</p>	<p>であり、生涯教育を中心にさせていただきます。お二人には違った角度から見てさせていただきます。</p> <p>《津久井委員》</p> <p>学識経験者の2名は毎年変わるのでしょうか。そういった決まりはあるのでしょうか。</p> <p>《総務課長》</p> <p>今現在、2名を変えるかどうかの検討はしておりません。決まりはありませんので、状況を見ながら検討してまいります。 (そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p> <p>議案第30号「伊勢崎市教育行政方針における基本方針について」教育長から上程があった。</p> <p>書記が議案の朗読のあと、総務課長から資料を基に説明がされた。</p> <p>《徳江教育長》</p> <p>伊勢崎市は、平成29年4月1日から新教育委員会制度になりました。地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、いろいろな計画や評価を作ってきましたが、複雑になってきてしまいました。たくさんある計画が機能的に動くようにするため、教育振興基本計画と教育行政方針をリンクさせ、スリム化した分かりやすい内容にしようとするものです。</p> <p>《大矢委員》</p> <p>実感できます。</p> <p>《徳江教育長》</p> <p>できるだけ機能的な計画を作るための第一歩だと考えます。 (そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)</p> <p>————— その他の事項 —————</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の教育委員会の日程について <p>1月18日(木) 午後2時00分 本館5階職員研修室</p> <p>————— 閉会宣言 —————</p> <p>以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。</p>
--------------------------	---